テラス用スクリーン（前面・側面スクリーン 側面ランマパネル）　取付け説明書

●この説明書について
・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
・必ず取付けされる方にお渡しください。
※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品施工の際はテラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●設置条件
・前面、側面スクリーンは木造住宅の2階以下に取付けてください。3階以上には絶対に取付けないでください。
・前面、側面スクリーンを2階に取付ける場合は1段仕様になります。
・他社商品と組合わせて設置しないでください。
・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
●躯体への固定
・タッピンねじ・木ねじは柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
●部材の固定
・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。

⚠注　意

●基礎について
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・取付け前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
・柱（屋根柱は除く）には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
●パネルについて
・パネルは当社指定品をご使用ください。
●取付け上について
・みだりに改造･変更をしないでください。
※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シーリングについて
・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■取付け上のお願い

●水平･垂直は水準器などで正確に出してください。
●パネルには表裏がありますので取付け前に確認してください。
●取付けは専門業者が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。
●取付け時は必ず足場を設けてください。

■目次

●前面スクリーンの取付け……P.11～25
●側面ランマパネルの取付け……P.26～31
●側面スクリーンの取付け……P.32～39

■梱包明細表

●前面スクリーン長さセット（1段用）

（　）内はメーター間

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間（2000）	1.5間（3000）	2.0間（4000）	2.5間（5000）
上下桟		2	2	2	2
グレイジングチャンネル		2	2	4	4

●前面スクリーン長さセット（2段用）

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間（2000）	1.5間（3000）	2.0間（4000）	2.5間（5000）
上下桟		2	2	2	2
中桟		1	1	1	1
グレイジングチャンネル		4	4	8	8

●単体1段用方立セット

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間（2000）	1.5間（3000）	2.0間（4000）	2.5間（5000）
端部方立		2	2	2	2
方立		1	2	3	4
グレイジングチャンネル		4	6	8	10
上下桟キャップR		2	2	2	2
上下桟キャップL		2	2	2	2
桟取付け金具		4	4	6	6
後付け柱用固定ボルト		–	–	2	2
六角ボルトM8×12	–	4	4	6	6
平ワッシャーM8用	–	4	4	8	8
スプリングワッシャーM8用	–	4	4	8	8
袋ナットM8用	–	4	4	8	8
トラスタッピンねじ（1種）φ4×12	–	13	13	17	17
ナベテクスねじφ4×13	–	8	8	13	13
取付け説明書	–	1	1	1	1

Z278_200612A

●前面スクリーン単体2段用方立セット

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間 (5000)
端部方立		4	4	4	4
方立		2	4	6	8
グレイジングチャンネル		8	12	16	20
上下桟キャップR		2	2	2	2
上下桟キャップL		2	2	2	2
中桟キャップ		2	2	2	2
桟取付け金具		6	9	9	12
後付け柱用固定ボルト		−	2	2	4
六角ボルトM8×12	−	6	9	9	12
平ワッシャーM8用	−	6	11	11	16
スプリングワッシャーM8用	−	6	11	11	16
袋ナットM8用	−	6	11	11	16
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	−	21	30	30	35
ナベテクスねじφ4×13	−	13	19	19	26
取付け説明書	−	1	1	1	1

Z278_200612A

●前面スクリーン連棟1段用方立セット

名　　称	略　図	員　　数			
		1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間 (5000)
方立		2	3	4	5
グレイジングチャンネル		4	6	8	10
上下桟ジョイントピース		2	2	2	2
上下桟用スリーブ		2	2	2	2
ジョイントピース用グレイジングチャンネル		2	2	2	2
桟取付け金具		4	4	6	6
後付け柱用固定ボルト		–	–	2	2
六角ボルトM8×12	–	4	4	6	6
平ワッシャーM8用	–	4	4	8	8
スプリングワッシャーM8用	–	4	4	8	8
袋ナットM8用	–	4	4	8	8
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	–	6	6	10	10
ナベテクスねじφ4×13	–	17	17	21	21

Z278_200612A

●前面スクリーン連棟2段用方立セット

名　　称	略　図	員　　数			
		1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間 (5000)
方立		4	6	8	10
グレイジングチャンネル		8	12	16	20
上下桟ジョイントピース		2	2	2	2
中桟ジョイントピース		1	1	1	1
上下桟用スリーブ		2	2	2	2
中桟用スリーブ		1	1	1	1
ジョイントピース用グレイジングチャンネル		4	4	4	4
桟取付け金具		6	9	9	12
後付け柱用固定ボルト		–	2	2	4
六角ボルトM8×12	–	6	9	9	12
平ワッシャーM8用	–	6	11	11	16
スプリングワッシャーM8用	–	6	11	11	16
袋ナットM8用	–	6	11	11	16
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	–	8	17	17	21
ナベテクスねじφ4×13	–	30	37	37	43

●パネルセット

名　　称	略　図	員　　数		
		2枚入	3枚入	4枚入
パネル		2	3	4

●柱セット(前面スクリーン用)

名　　称	略　図	員　　数
中間柱		1
柱固定金具		1
アンカー棒		1
トラス小ねじM5×12	–	4

Z278_200710D

●前面スクリーンふさぎ材セット

オプション

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間 (5000)
ふさぎ材A		1	1	1	1

●前面スクリーンふさぎ材セット（補強桁用）

オプション

名　　称	略　図	員　数			
		1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間 (5000)
ふさぎ材A		1	1	1	1
ふさぎ材B		1	1	1	1

●前面スクリーンふさぎ材端部部品セット

オプション

名　　称	略　図	員　数			
		1.0～1.5間用	2.0～2.5間用	補強桁用 1.0～1.5間用	補強桁用 2.0～2.5間用
ふさぎ材Aキャップ		2	2	2	2
ふさぎ材Bキャップ		–	–	2	2
ふさぎ材固定金具		4	6	4	6
ナベテクスねじφ4×13	–	13	17	21	28
ふさぎ材スペーサー	–	2	2	2	2

●前面スクリーンふさぎ材連棟部品セット

オプション

名　　称	略　図	員　数			
		1.0～1.5間用	2.0～2.5間用	補強桁用 1.0～1.5間用	補強桁用 2.0～2.5間用
ふさぎ材A連結カバー		1	1	1	1
ふさぎ材B連結カバー		–	–	1	1
ふさぎ材固定金具		4	6	4	6
ナベテクスねじφ4×13	–	10	15	17	26
ふさぎ材スペーサー	–	2	2	2	2

●側面ランマパネルセット

名　　称	略　図	員　　数	
		アールタイプ屋根	フラットタイプ屋根
側面パネル（アールタイプ屋根）※1		2	–
側面パネル（フラットタイプ屋根）※1		–	2
目隠し材		2	2
上枠（アールタイプ屋根）		2	–
上枠（フラットタイプ屋根）		–	2
すき間隠し材		2	2
前枠固定金具		2	2
下桟固定金具		2	2
側面パネル用垂木掛けキャップ		2	2
2.5間用スペーサー		左右各1	左右各1
物干しサポート部品		4	4
ナベテクスねじφ4×19	–	26(30)[34]※2	18(20)[28]※2
ナベテクスねじφ4×13	–	18(18)[24]※2	18(18)[24]※2
丸木ねじφ4.1×50	–	8	8
取付け説明書	–	1	1

※1　ポリカタイプには、パネルに表裏があるため左右があります。
　　7尺以上は、中央部に方立が入ります。
※2　カッコがついていない員数は3尺、4尺を示します。
　　(　)内は5尺、6尺を示します。
　　[　]内は7尺、8尺、9尺を示します。

Z278_200612A

●側面ランマパネル　自在桁取付け部品セット

名　　称	略　図	員　　数	
		アールタイプ屋根	フラットタイプ屋根
側面ランマ固定金具（自在桁R用）		2	−
側面ランマ固定金具（自在桁F用）		−	2
側面ランマ固定金具（下桟側）		2	2
ナベテクスねじφ4×13	−	13	13
トラス小ねじM5×12	−	2	2

●側面スクリーン1段用枠セット

名　　称	略　図	員　　数			
		3尺	4尺	5尺	6尺
上下桟		2	2	2	2
端部方立		2	2	2	2
方立		−	1	1	1
桟用グレイジングチャンネル		2	2	2	2
グレイジングチャンネル（方立）		2	4	4	4

●側面スクリーン2段用枠セット

名　　称	略　図	員　　数			
		3尺	4尺	5尺	6尺
上下桟		2	2	2	2
中桟		1	1	1	1
端部方立		4	4	4	4
方立		−	2	2	2
桟用グレイジングチャンネル		4	4	4	4
グレイジングチャンネル（方立）		4	8	8	8

●側面スクリーン部品セット

名　　称	略　図	員　　数	
		1段	2段
上下桟キャップL		2	2
上下桟キャップR		2	2
中桟キャップ		−	2
桟取付け金具		2	3
躯体側桟取付け金具		2	3
躯体側止水シール		1	2
六角ボルトM8×12	−	2	3
六角ボルトM8×16	−	2	3
平ワッシャーM8用	−	4	6
スプリングワッシャーM8用	−	4	6
袋ナットM8用	−	4	6
六角タッピンねじ(1種)φ6×70	−	4	6
平ワッシャーM6用	−	4	6
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	−	10	20
ナベテクスねじφ4×13	−	4	6
取付け説明書	−	1	1

●側面スクリーンランマふさぎ材セット　オプション

名　　称	略　図	員　　数
ランマふさぎA		1
ランマふさぎB		1

●側面スクリーンパネルセット

名　　称	略　図	員　　数	
		3尺	4尺~6尺
スクリーンパネル		1	2

●側面スクリーンランマふさぎ材部品セット　オプション

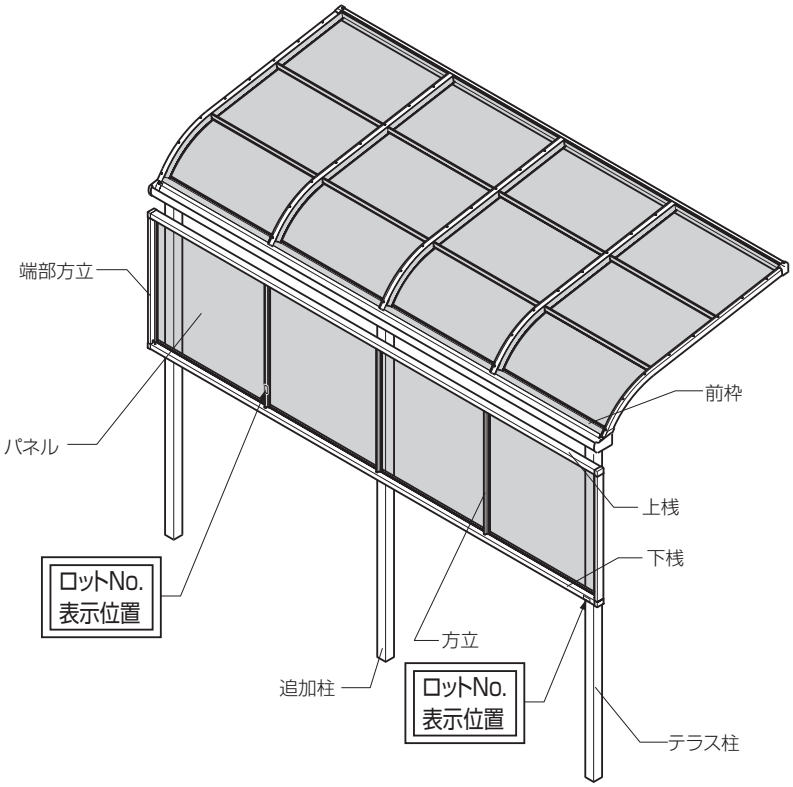
名　　称	略　図	員　　数
ランマふさぎAキャップL		1
ランマふさぎAキャップR		1
ランマふさぎBキャップ		2
ランマ止水シール		1
トラスタッピンねじ(3種)φ4×8	−	4
六角袋ナットM4用	−	2
ナベテクスねじφ4×13	−	23

Z278_200612A

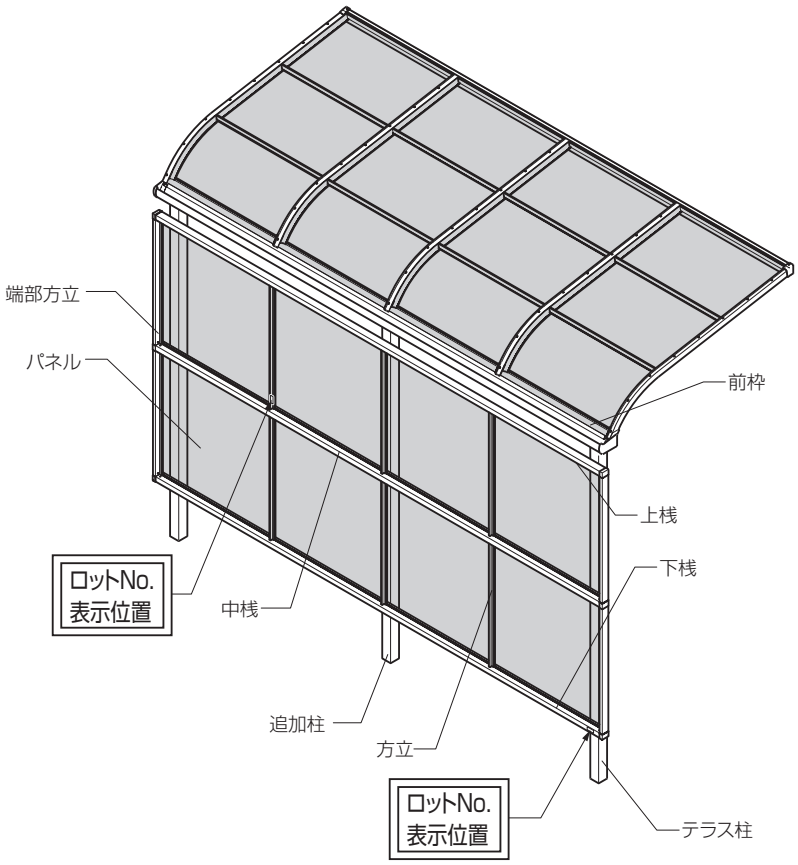
前面スクリーンの取付け

■構造説明図

●1段仕様前面スクリーン



●2段仕様前面スクリーン

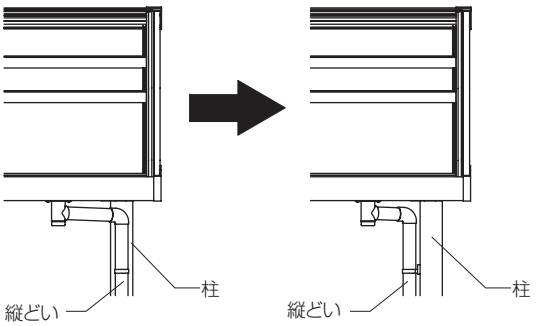


Z278_200701B

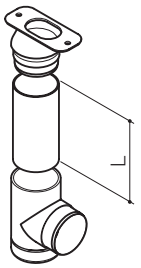
■取付け順序

1縦どいの移動

※縦どいが柱の正面(外側)に付いている場合、柱の側面に取付け直してください。



・補強桁仕様



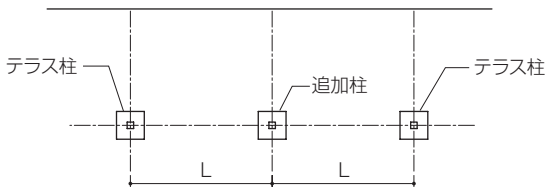
ポイント

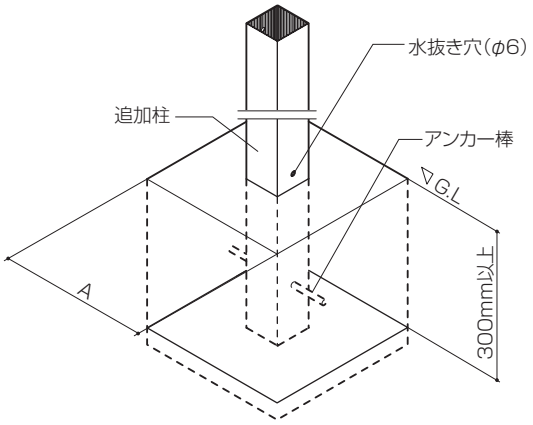
●補強桁を取付けた場合は、雨どいアタッチメントとドレンエルボの間に短い縦どいを取付けてください。

	L
補強桁A	85～95
補強桁B·C	120～130

2追加柱(中間柱)の施工

①柱埋込み位置を出し、追加柱を施工してください。柱の位置は下図とP.24「納まり図」を参考に決めてください。
②柱が倒れないように仮固定してください。
③柱の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。





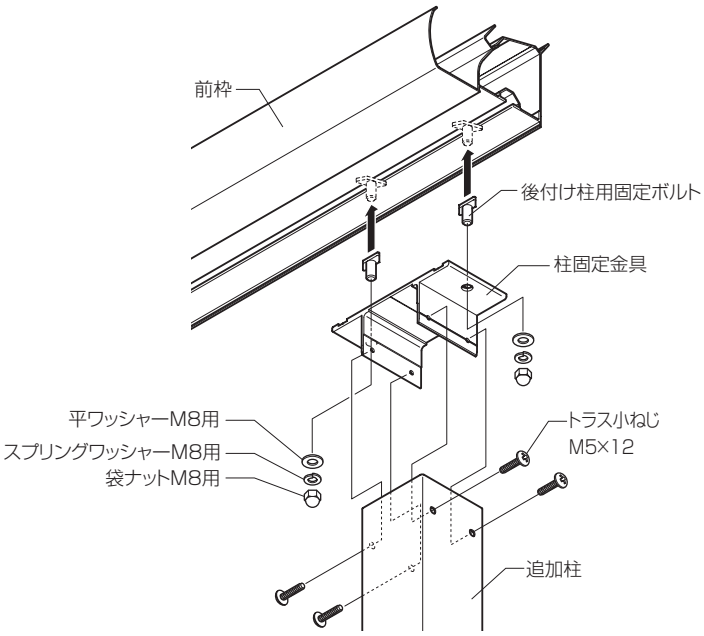
■基礎サイズ表(A寸法)

タイプ		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
600タイプ	3尺	300×300			
	4尺				
	5尺				
	6尺				
	7尺				
	8尺				
	9尺				
	10尺	500×500			
	12尺				
	15尺				
1500タイプ	3尺	300×300			
	4尺				
	5尺				
	6尺				
	7尺				※1
	8尺				
	9尺				
3000タイプ	3尺	500×500			※2
	4尺				
	5尺				
	6尺				

ポイント

●基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。
●1500タイプの7尺～9尺には、2.5間通しの設定はありません。(※1)
●3000タイプには2.5間通しの設定はありません。(※2)

3 中間柱ー前枠の取付け



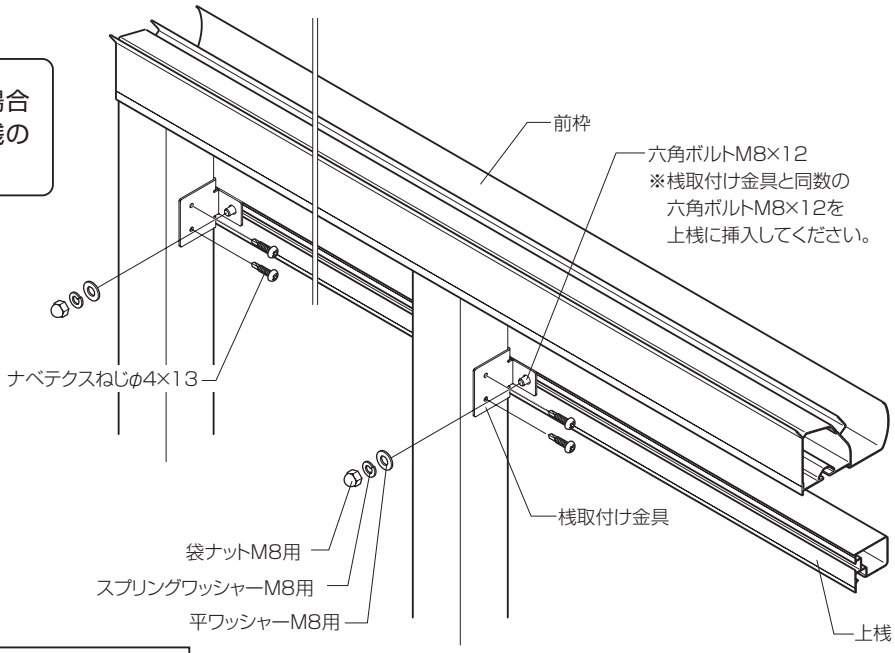
補 足

●テラス本体と前面スクリーンを同時に施工する場合、柱はテラス柱と同様の取付け（柱取付け裏板を使用）を行ってください。

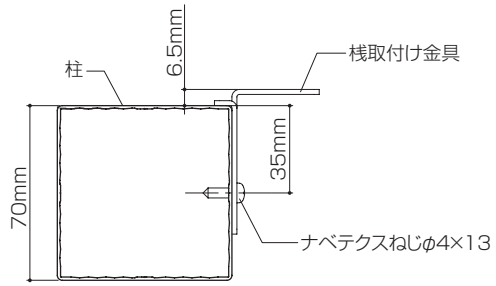
4 上桟の柱への取付け

補 足

●ふさぎ材（オプション）を取り付ける場合は、P24･25の納まり図を参照し上桟の高さを決めてください。



■桟取付け金具の柱組付け位置

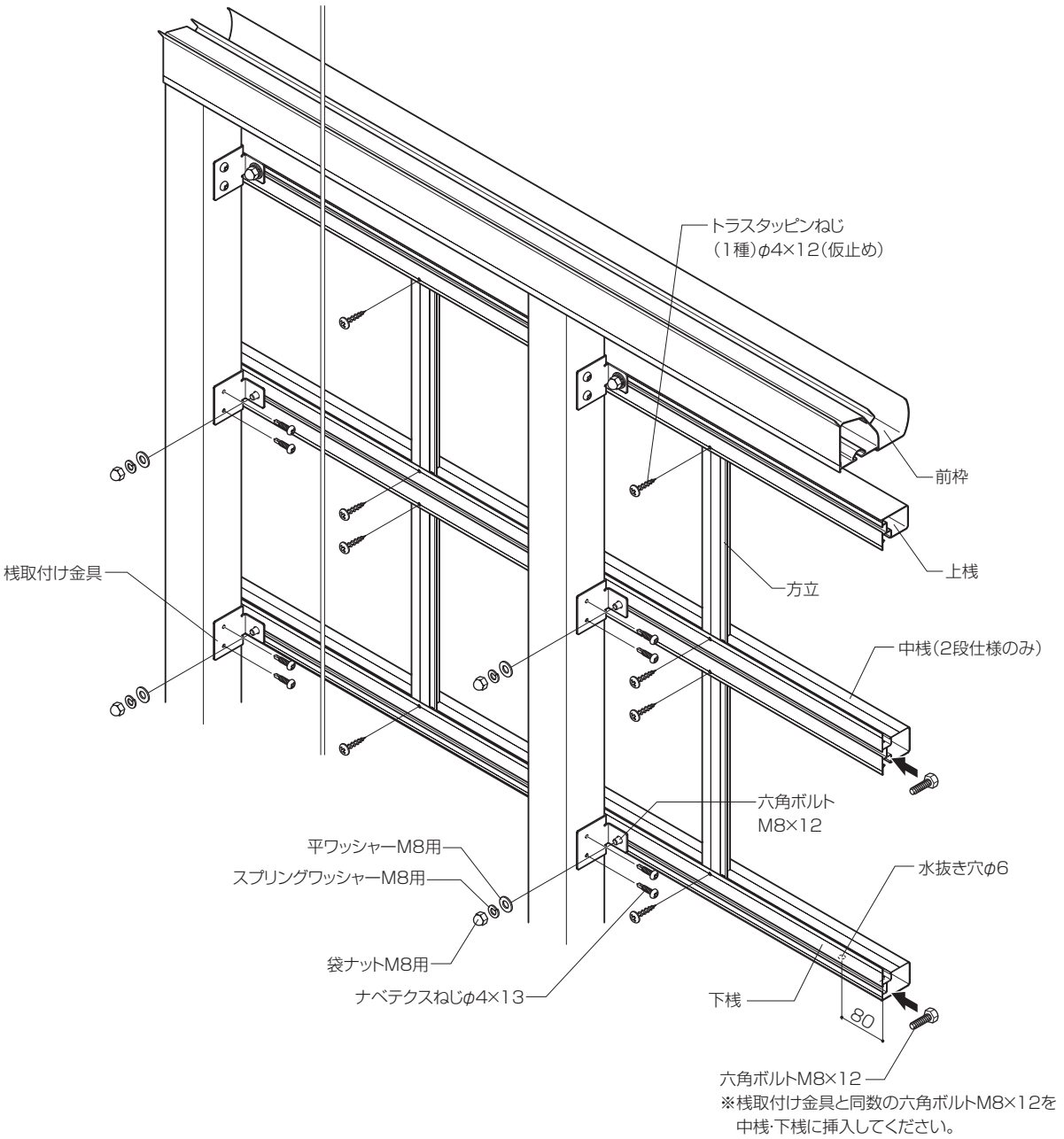


ポイント

●連棟部のみ柱の両側に金具を取付けます。

Z278_200710D

5 中桟ー下桟の柱への取付け



※位置出しのため、上下桟･中桟（2段仕様のみ）に方立を仮止めしてください。
※桟取付け金具を柱に固定した後、仮止めした方立を取外してください。

ポイント

●取外した方立、取付けねじは再度使用します。
●連棟部のみ柱の両側に金具を取付けます。

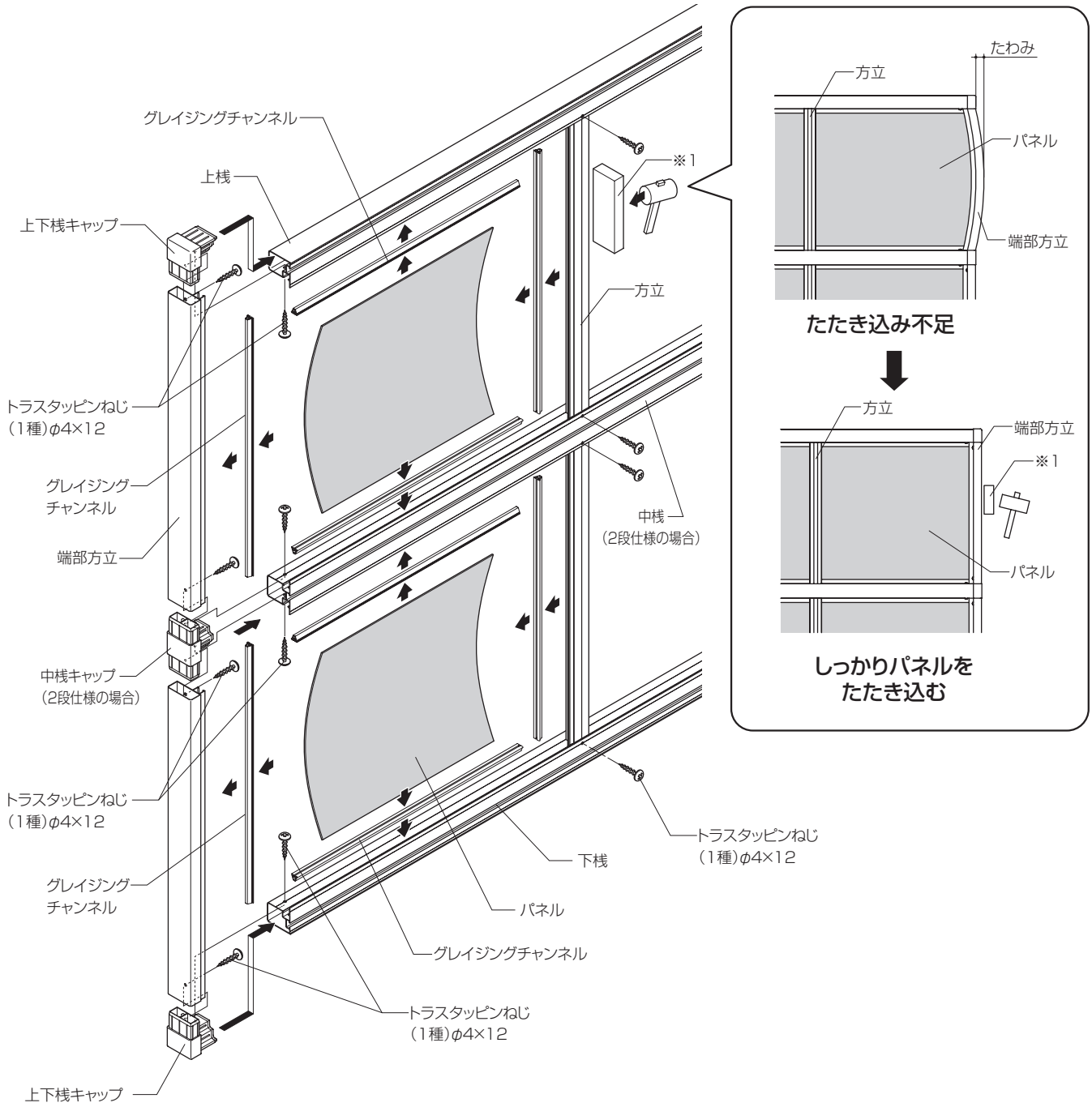
6 パネルの取付け

ポイント

●端部方立･方立はあて木などを使用して、しっかりパネルをたたき込んでください。
たたき込みが不足すると端部方立･方立がたわみ、パネルの耐風圧強度が低下するおそれがあります。（※1）

補 足

●間口サイズにより、方立が柱の裏になるため、そのままではねじ止めはできません。その場合は前面スクリーン全体を少し横（間口方向）へずらすなどして取付けてください。
●パネルの表裏を確認してから取付けてください。

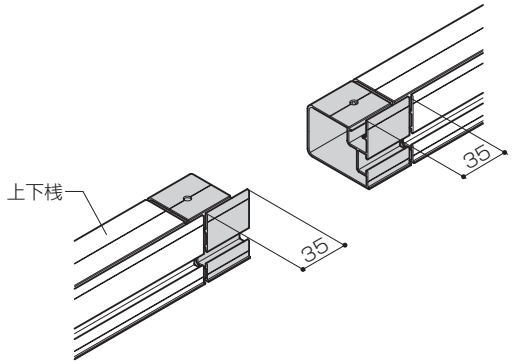


Z278_200701B

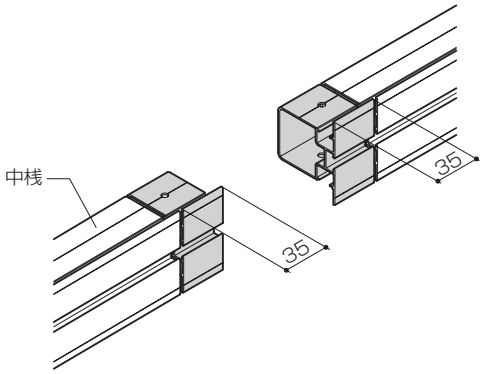
7 連棟部の組立て

1 部材の切断

●上下桟

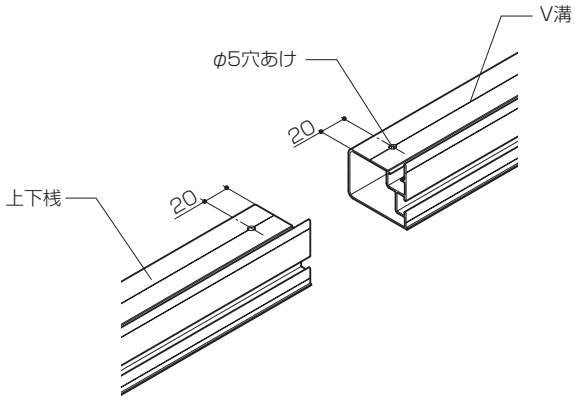


●中桟　※2段仕様の場合

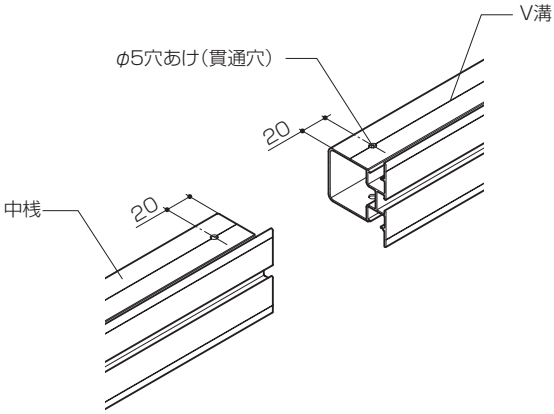


2 部材の穴加工

●上下桟



●中桟　※2段仕様の場合



ポイント

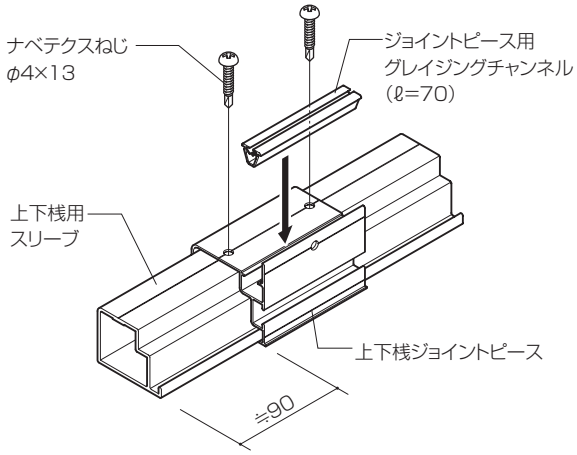
●V溝をガイドにして穴加工をしてください。

ポイント

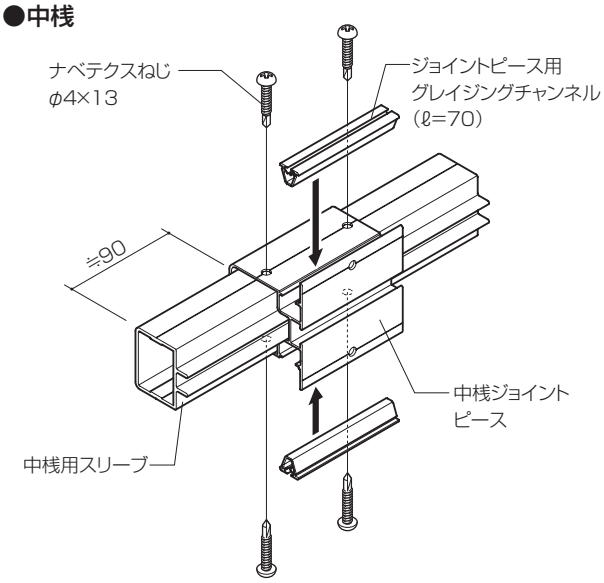
●V溝をガイドにして穴加工をしてください。

3 ジョイントピースの取付け

●上下桟

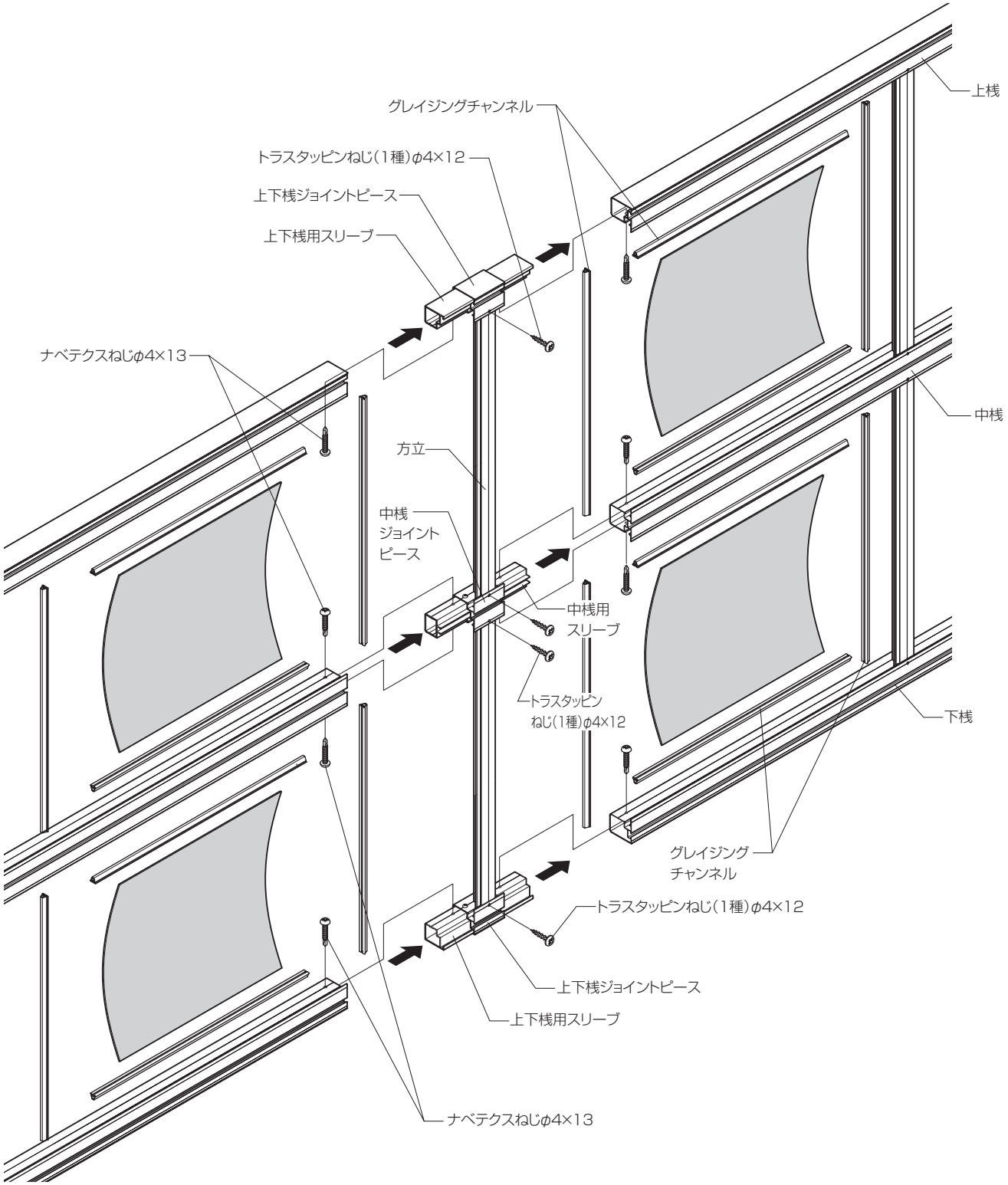


●中桟



Z278_200701B

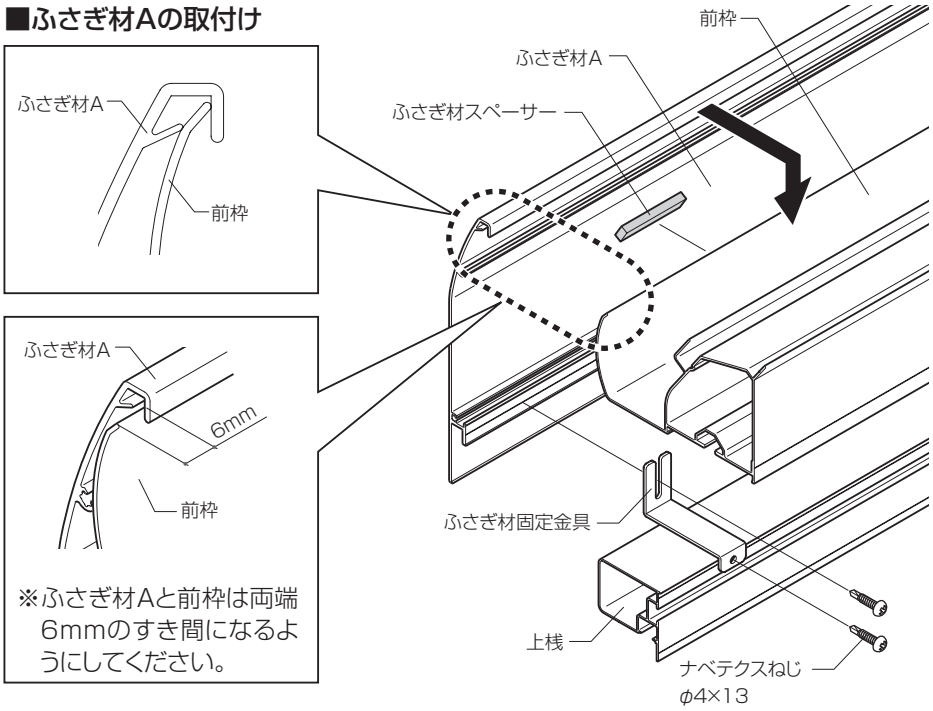
4 各連結部の取付け



Z278_200701B

8 前面スクリーンふさぎ材の取付け（オプション）

■ふさぎ材Aの取付け



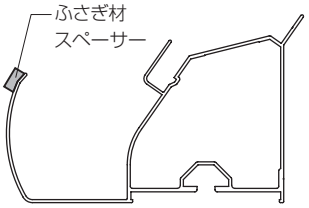
※ふさぎ材Aと前枠は両端6mmのすき間になるようにしてください。

ポイント

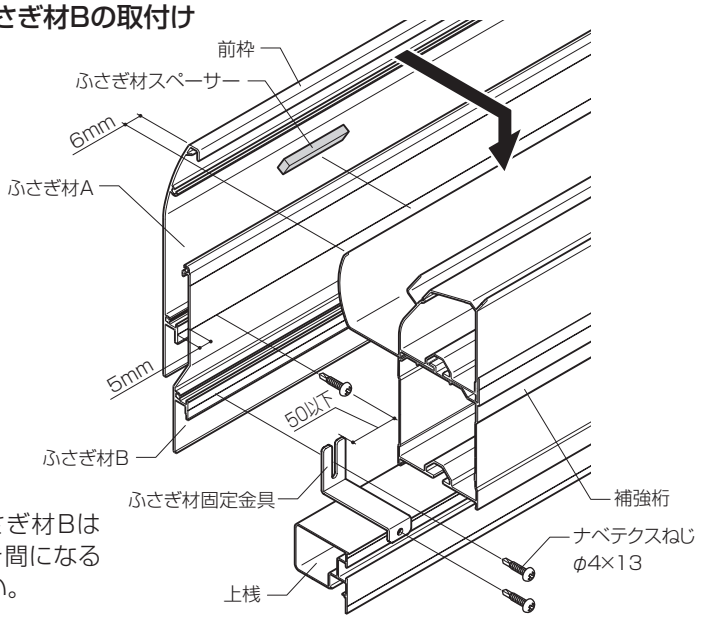
●ふさぎ材固定金具は
1.0間～1.5間は4個
2.0間～2.5間は6個
取付きます。
柱の位置を避けて、なるべく等間隔で取付けてください。

■ふさぎ材スペーサー張付け位置

※前枠の長さから両端1／3の位置に2カ所張付けてください。



■ふさぎ材A+ふさぎ材Bの取付け



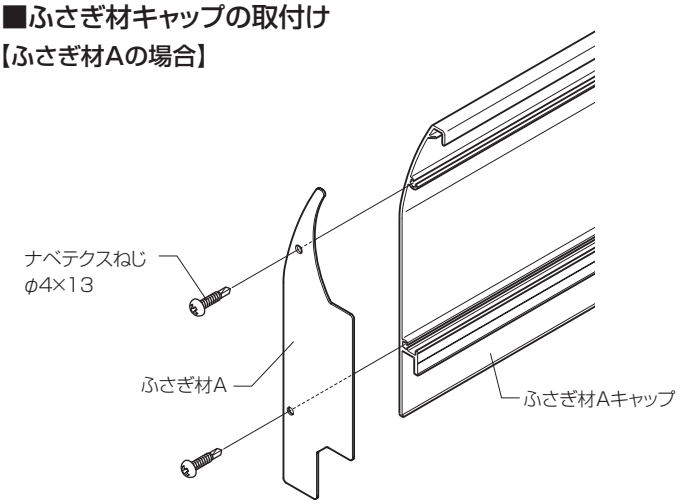
※ふさぎ材Aとふさぎ材Bは両端5mmのすき間になるようにしてください。

ポイント

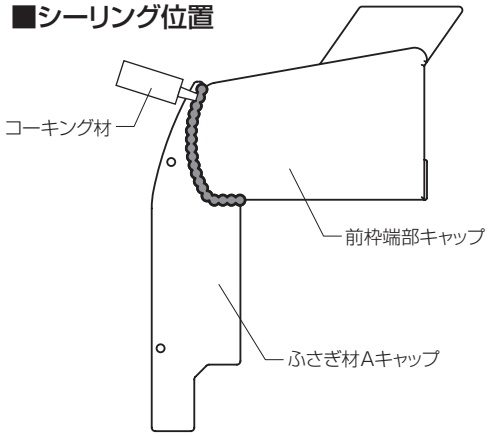
●ナベテクスねじφ4×13は1.0間～1.5間は4個
2.0間～2.5間は6個
取付きます。
柱の位置を避けて、なるべく等間隔で取付けてください。

■ふさぎ材キャップの取付け

【ふさぎ材Aの場合】

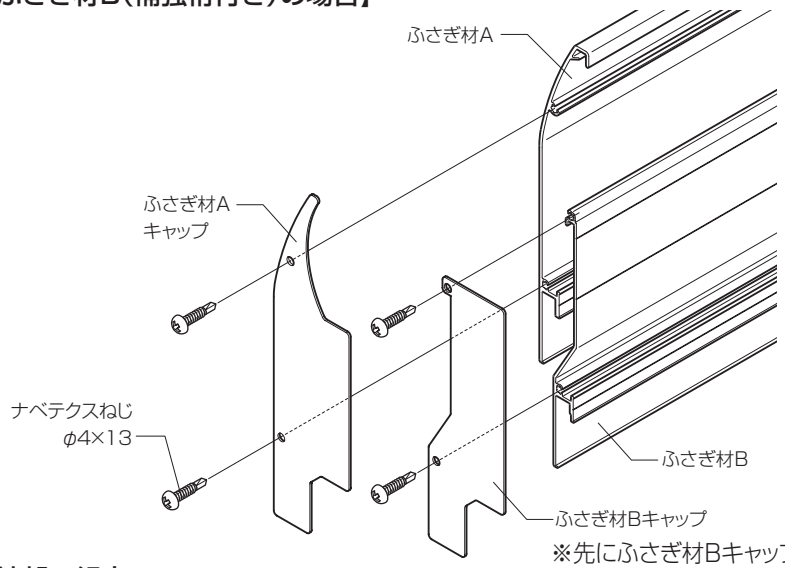


■シーリング位置



Z278_200701B

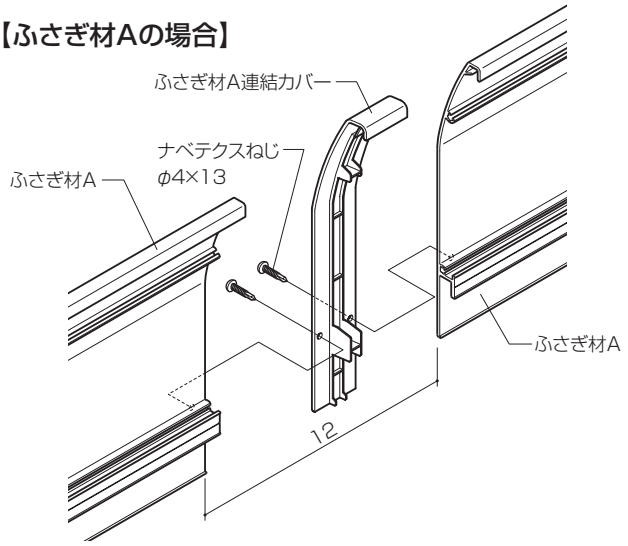
【ふさぎ材A+ふさぎ材B(補強桁付き)の場合】



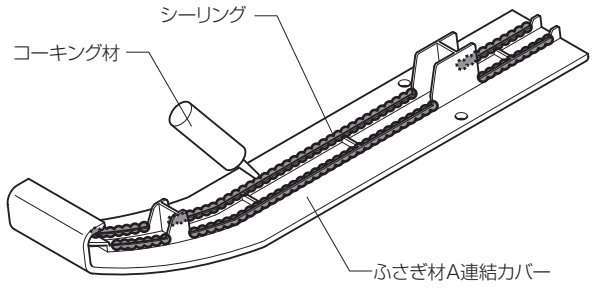
※先にふさぎ材Bキャップを取付けてください。

■ふさぎ材連結部の組立て

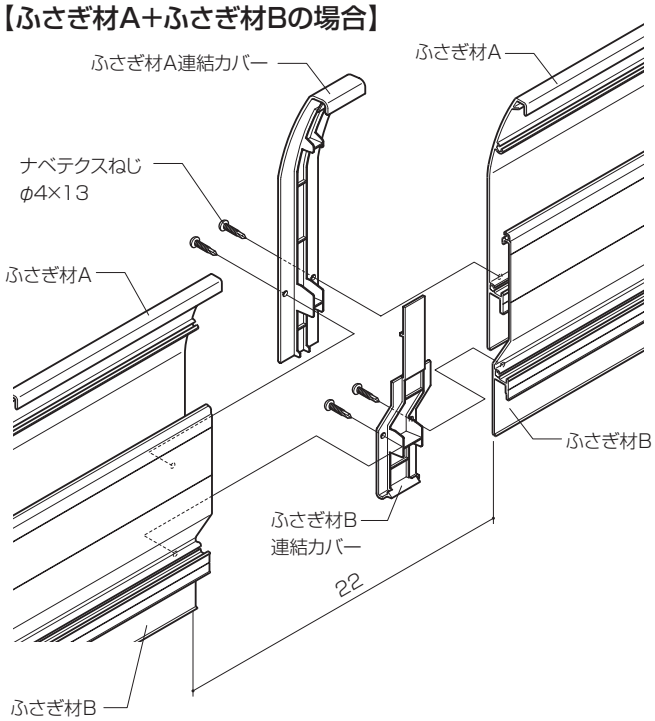
【ふさぎ材Aの場合】



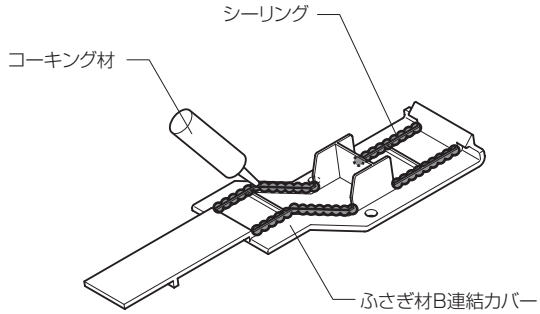
■シーリング位置



【ふさぎ材A+ふさぎ材Bの場合】



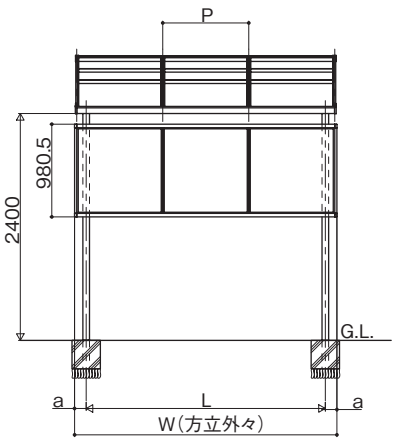
■シーリング位置



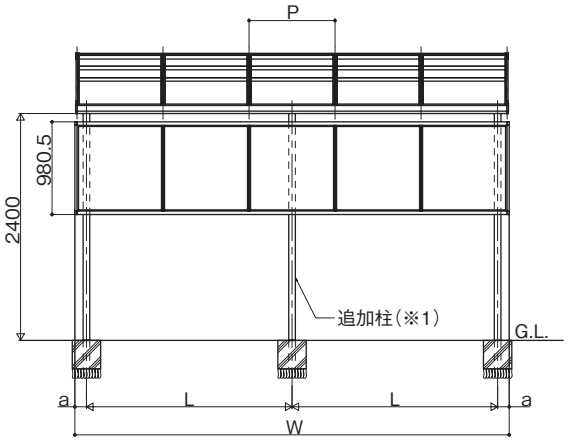
Z278_200701B

■姿図

■単体1段仕様



1.0間・1.5間



2.0間・2.5間通し

※1:追加柱の移動は±100mm以内にしてください。

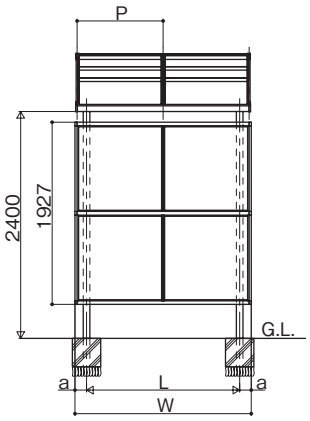
●関東間

呼称	P	L	W	a
1.0間	910	1620	1865	122.5
1.5間	910	2530	2775	
2.0間	910	1720	3685	
2.5間通し	910	2175	4595	

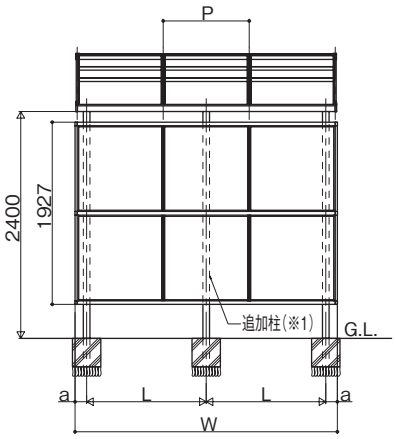
●メーター

呼称	P	L	W	a
2000	1000	1800	2045	122.5
3000	1000	2800	3045	
4000	1000	1900	4045	
5000	1000	2400	5045	

■単体2段仕様

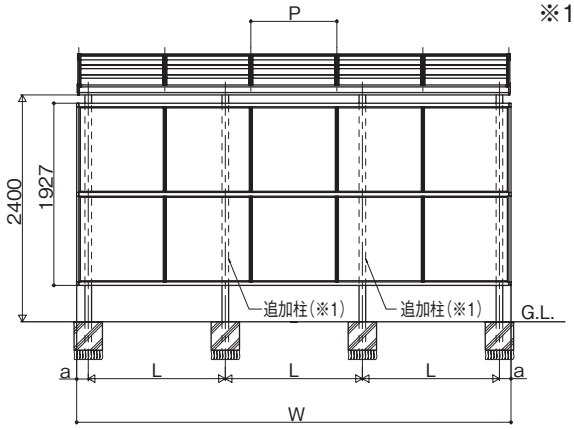


1.0間



1.5間・2.0間

※1:追加柱の移動は±100mm以内にしてください。



2.5間通し

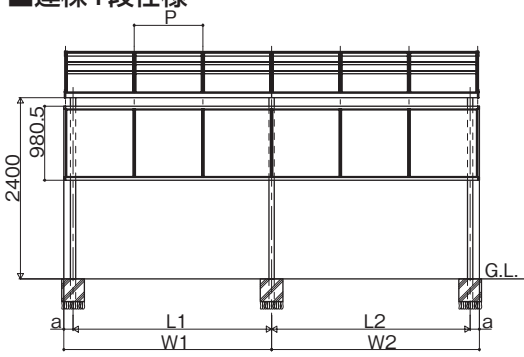
●関東間

呼称	P	L	W	a
1.0間	910	1620	1865	122.5
1.5間	910	1265	2775	
2.0間	910	1720	3685	
2.5間通し	910	1450	4595	

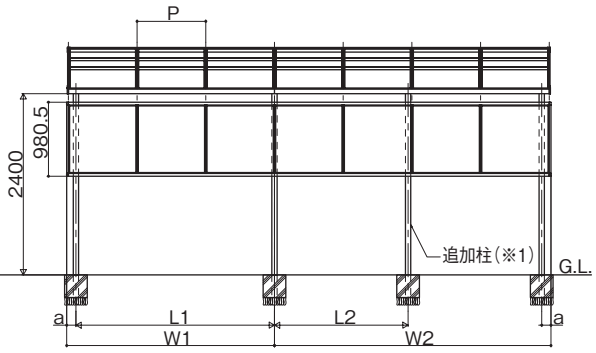
●メーター

呼称	P	L	W	a
2000	1000	1800	2045	122.5
3000	1000	1400	3045	
4000	1000	1900	4045	
5000	1000	1600	5045	

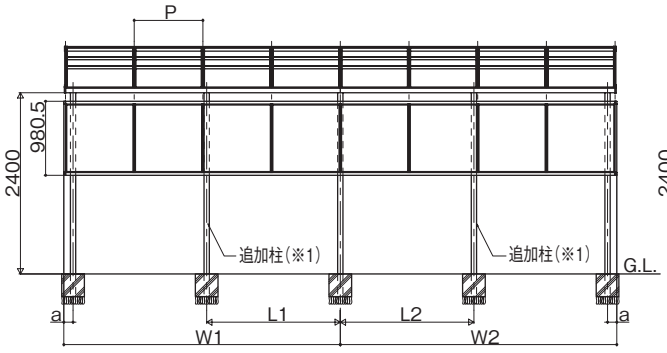
■連棟1段仕様



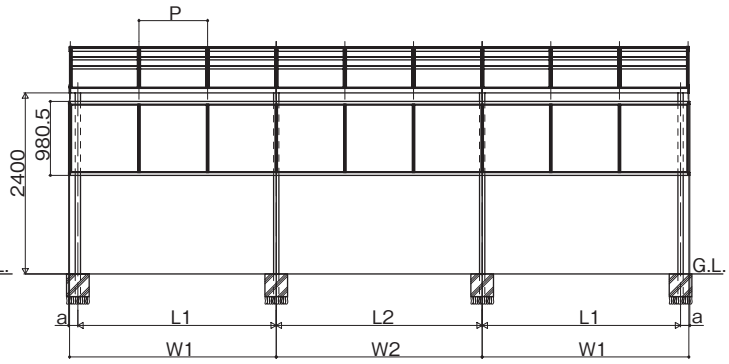
3.0間



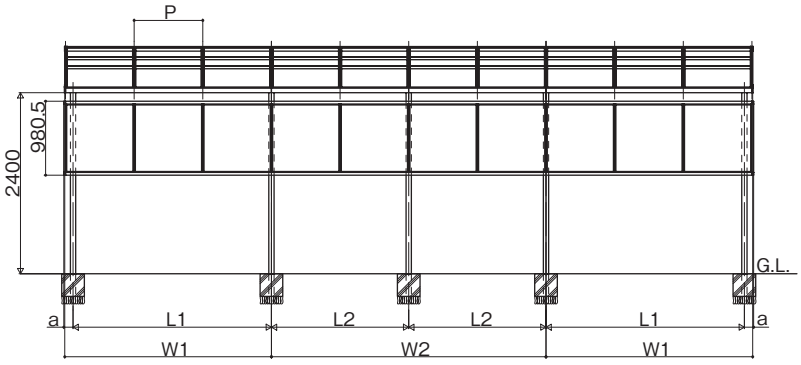
3.5間



4.0間



4.5間



5.0間

※1:追加柱の移動は±100mm以内にしてください。

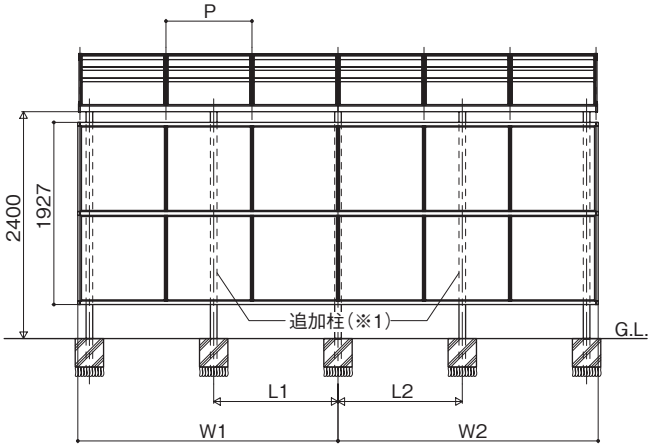
●関東間

呼称	P	L1	L2	W1	W2	a
3.0間(1.5+1.5)	910	2630	2630	2752.5	2752.5	122.5
3.5間(1.5+2.0)	910	2630	1770	2752.5	3662.5	
4.0間(2.0+2.0)	910	1770	1770	3662.5	3662.5	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	910	2630	2730	2752.5	2730	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	910	2630	1820	2752.5	3640	

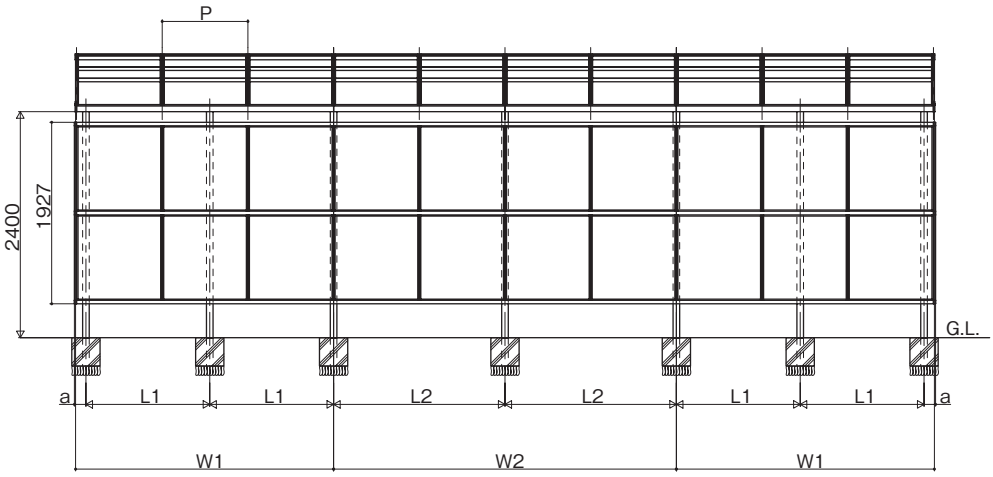
●メーター

呼称	P	L1	L2	W1	W2	a
6000(3000+3000)	1000	2900	2900	3022.5	3022.5	122.5
7000(3000+4000)	1000	2900	1950	3022.5	4022.5	
8000(4000+4000)	1000	1950	1950	4022.5	4022.5	
9000(3000+3000+3000)	1000	2900	3000	3022.5	3000	
10000(3000+4000+3000)	1000	2900	2000	3022.5	4000	

■連棟2段仕様



3.0間・3.5間・4.0間



4.5間・5.0間

※1:追加柱の移動は±100mm以内にしてください。

●関東間

呼称	P	L1	L2	W1	W2	a
3.0間(1.5+1.5)	910	1315	1315	2752.5	2752.5	122.5
3.5間(1.5+2.0)	910	1315	1770	2752.5	3662.5	
4.0間(2.0+2.0)	910	1770	1770	3662.5	3662.5	
4.5間(1.5+1.5+1.5)	910	1315	1365	2752.5	2730	
5.0間(1.5+2.0+1.5)	910	1315	1820	2752.5	3640	

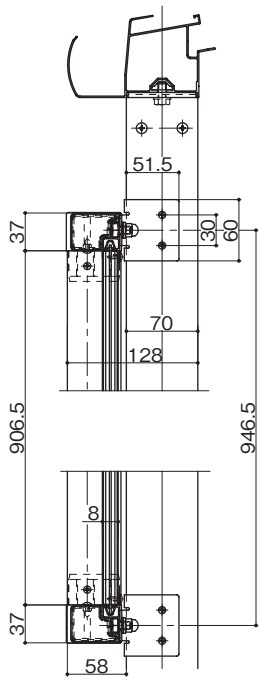
●メーター

呼称	P	L1	L2	W1	W2	a
6000(3000+3000)	1000	1450	1450	3022.5	3022.5	122.5
7000(3000+4000)	1000	1450	1950	3022.5	4022.5	
8000(4000+4000)	1000	1950	1950	4022.5	4022.5	
9000(3000+3000+3000)	1000	1450	1500	3022.5	3000	
10000(3000+4000+3000)	1000	1450	2000	3022.5	4000	

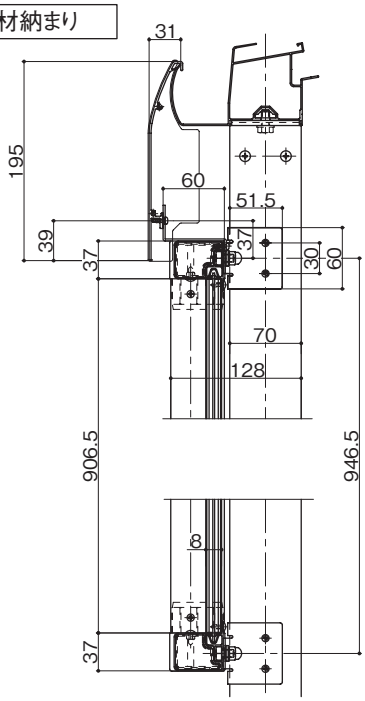
■参考納まり図

■1段仕様前面スクリーン納まり図

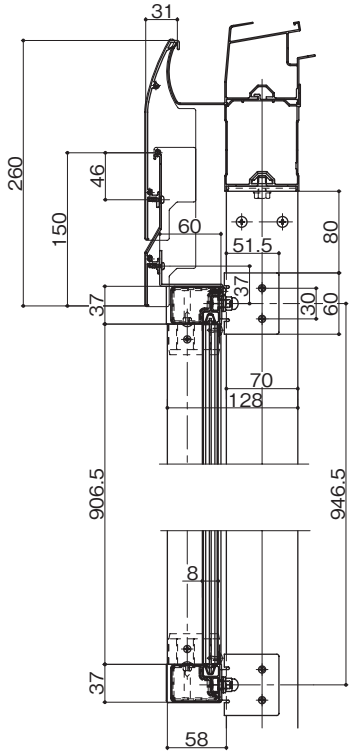
標準納まり



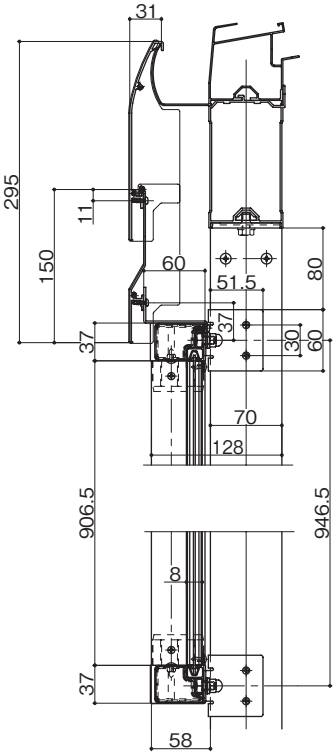
前面スクリーンふさぎ材納まり

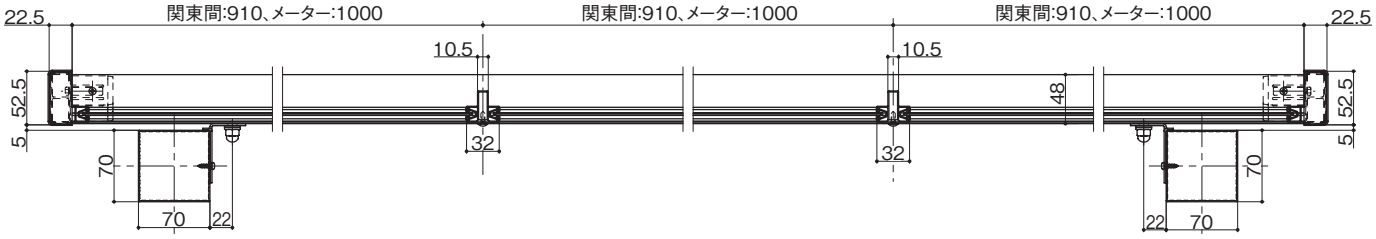


前面スクリーンふさぎ材納まり（補強桁A仕様）



前面スクリーンふさぎ材納まり（補強桁B･C仕様）

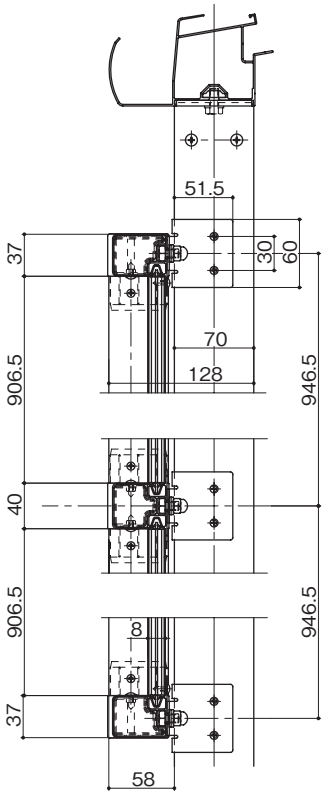




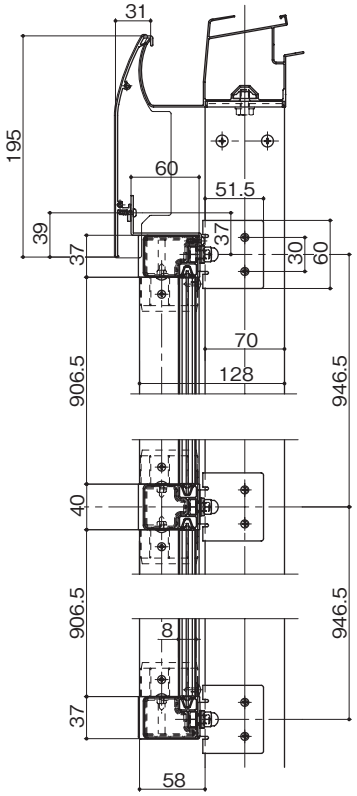
Z278_200701B

■2段仕様前面スクリーン納まり図

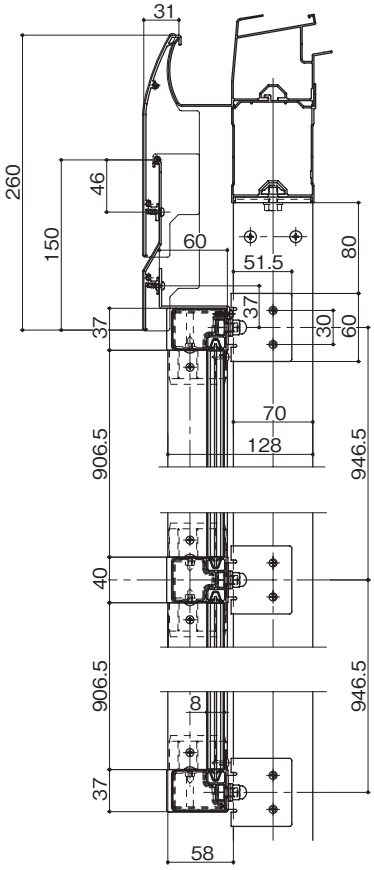
標準納まり



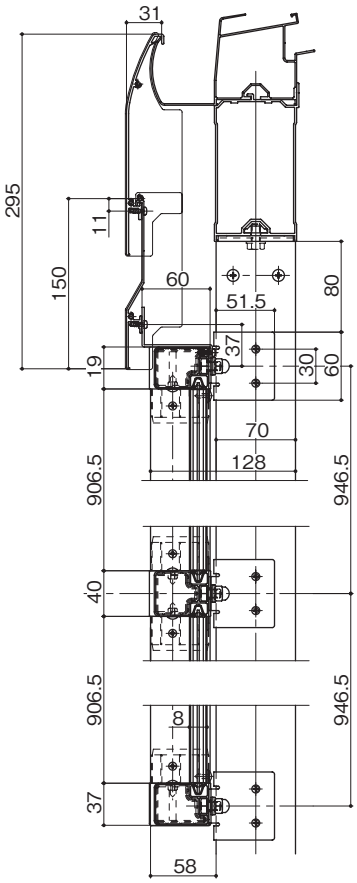
前面スクリーンふさぎ材納まり



前面スクリーンふさぎ材納まり（補強桁A仕様）



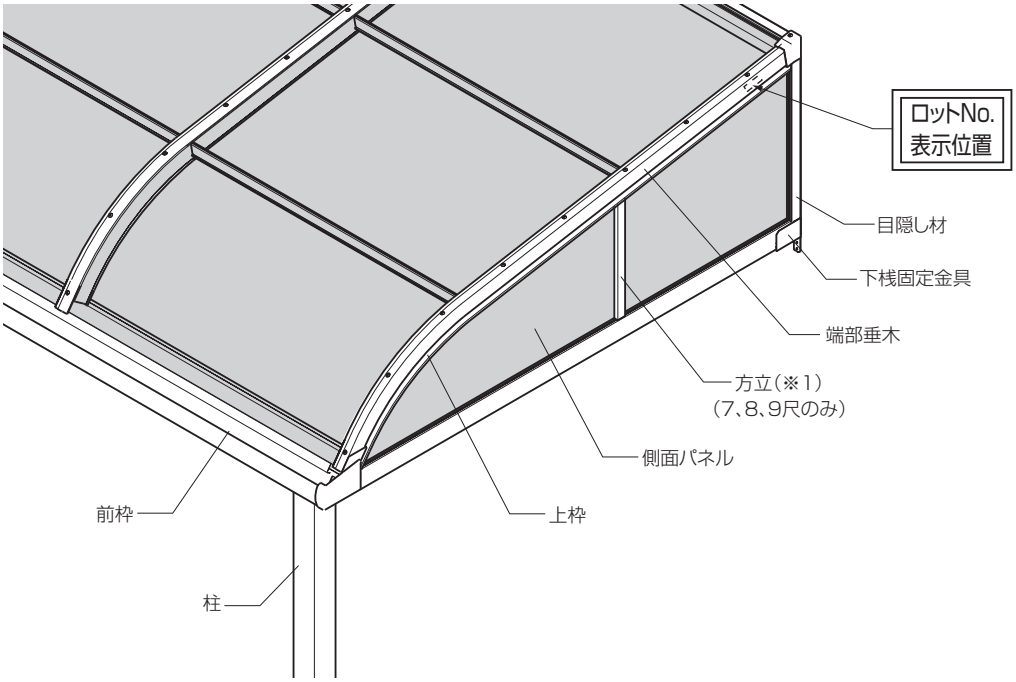
前面スクリーンふさぎ材納まり（補強桁B･C仕様）



Z278_200612A

側面ランマパネルの取付け

■構造説明図



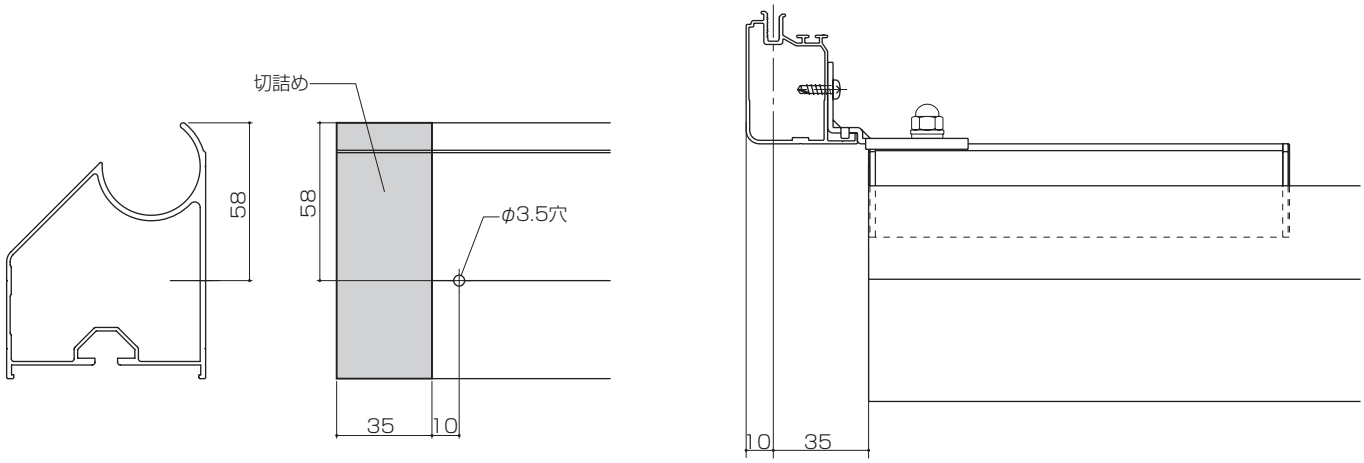
※本説明書はアールタイプ屋根を基本とした説明になっています。特に注記がない場合は、
　フラットタイプ屋根も同様の取付け方法となります。
※ルーフタイプに取付ける場合は方杖の位置を内側に100mm以上ずらしてください。

■取付け順序

1 自在桁の加工

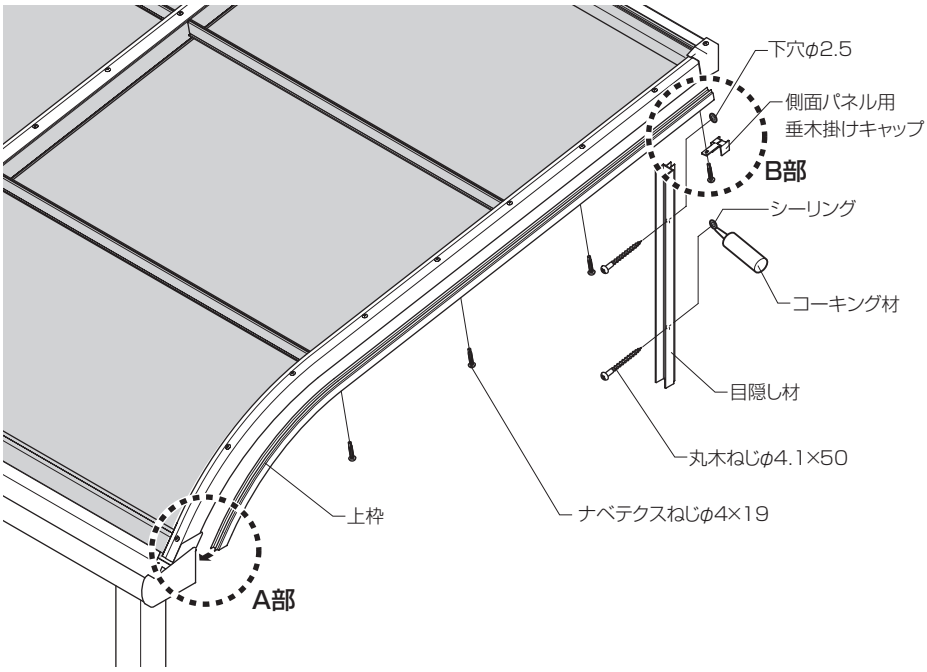
【自在桁仕様の場合】

●自在桁に側面ランマパネルを取付ける場合、自在桁を片側35mm切詰めてください。



Z278_200703C

2 側面ランマパネル上枠・目隠し材の取付け

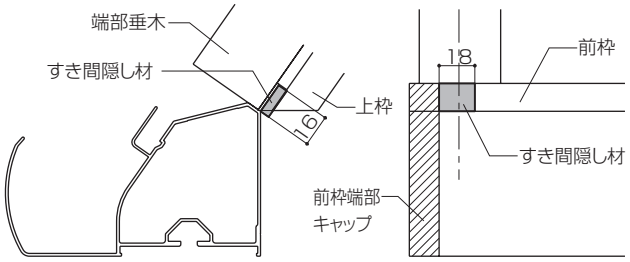


ポイント

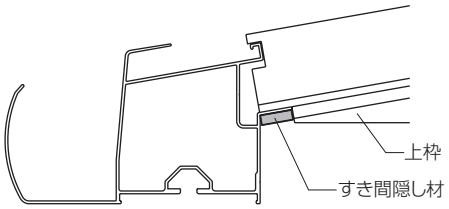
- すき間隠し材を張付けた後、上枠を取付けてください。
- アールタイプ屋根はフィンと切欠きを突き当ててください。
- フラットタイプ屋根はフィンと切断面を突き当ててください。

■すき間隠し材張付け位置（A部詳細図）

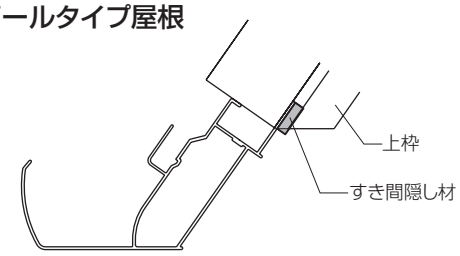
●アールタイプ屋根



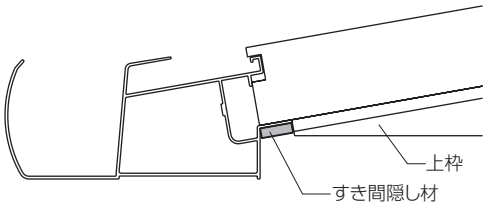
●フラットタイプ屋根



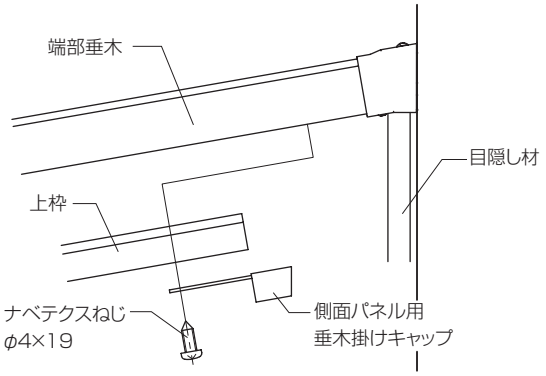
●自在桁アールタイプ屋根



●自在桁フラットタイプ屋根



■側面パネル用垂木掛けキャップの取付け（B部詳細図）



ポイント

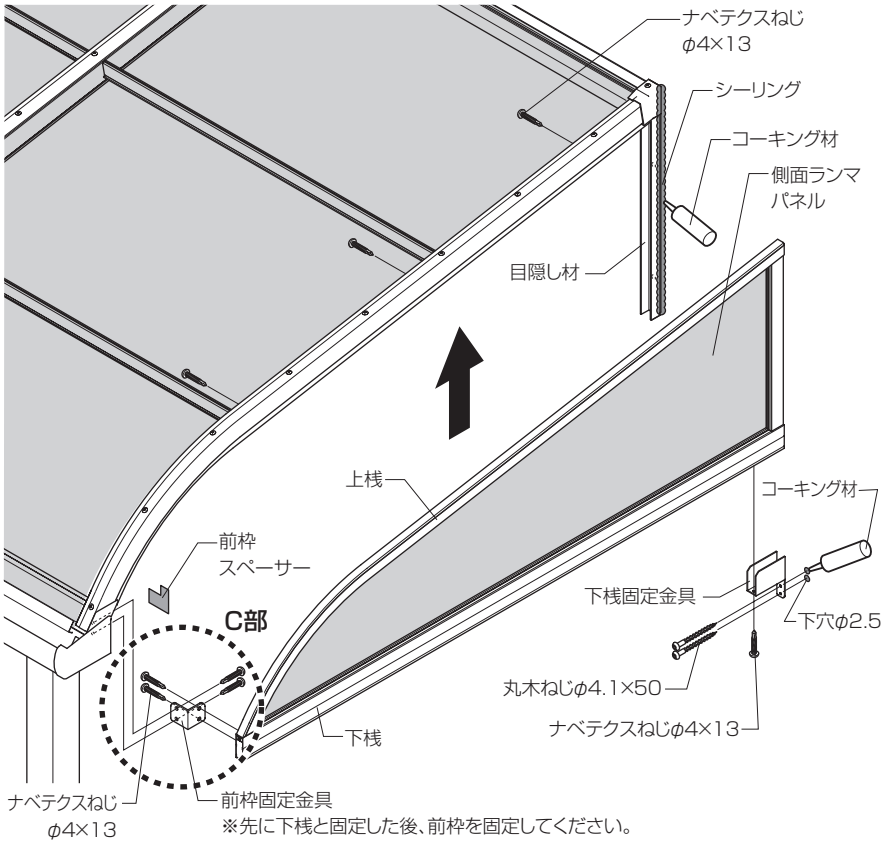
- 目隠し材を垂木掛けに突き当てた後、固定してください。
- 側面パネル用垂木掛けキャップは目隠し材を取付けた後、前後調整しますので、ねじは仮止めしてください。
- 側面パネル用垂木掛けキャップはテープで上枠に仮止めしてください。

3 側面パネルの取付け

【標準仕様の場合】

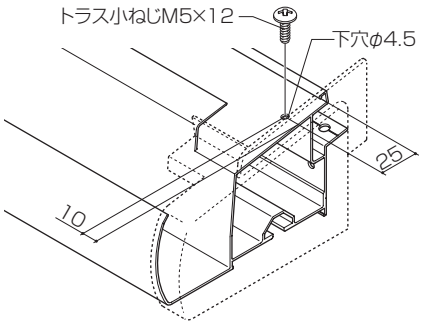
※前枠に段差がある場合は前枠固定金具・側面ランマパネルの下桟のすき間に前枠スペーサーをカットして張付けてください。

※上桟のV溝にテラスの内側から3～6尺時に3カ所、7～9尺のときに5カ所、均等になるように固定してください。

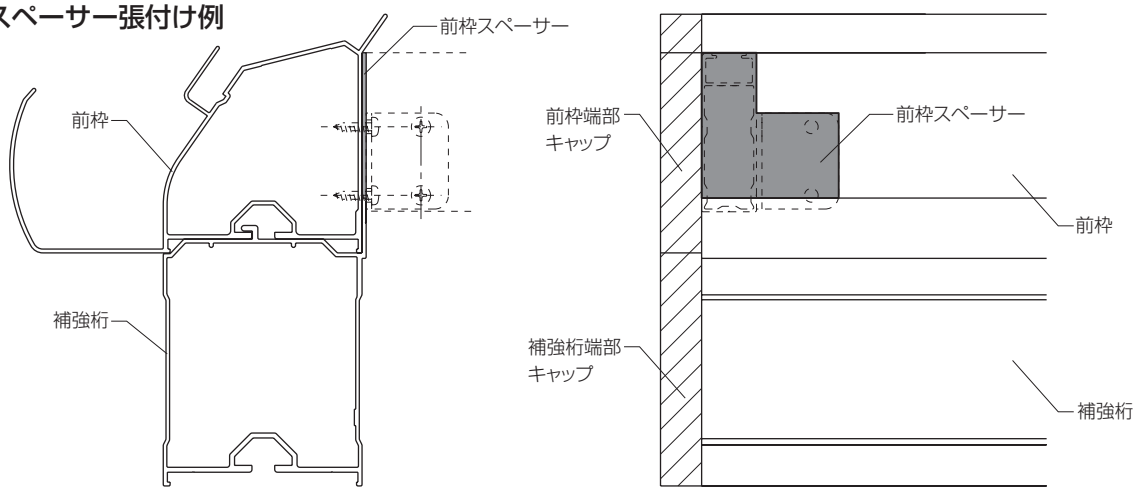


●フラットタイプ屋根の場合

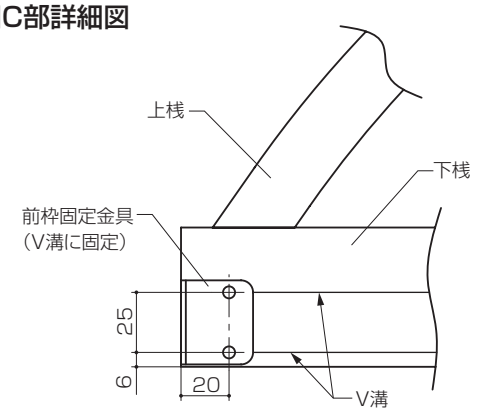
※フラットタイプ屋根の場合、側面ランマパネルを取付ける前に前枠端部キャップのねじを取外し、図の位置にねじ止めしてください。



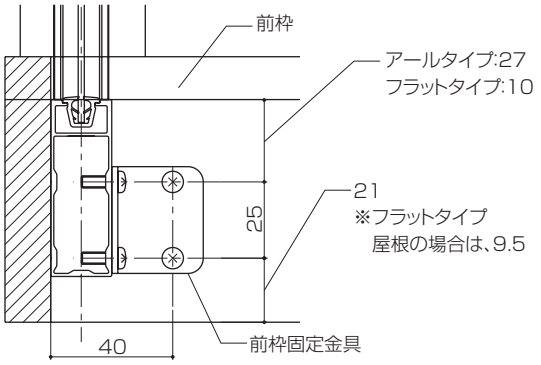
■前枠スペーサー張付け例



■C部詳細図



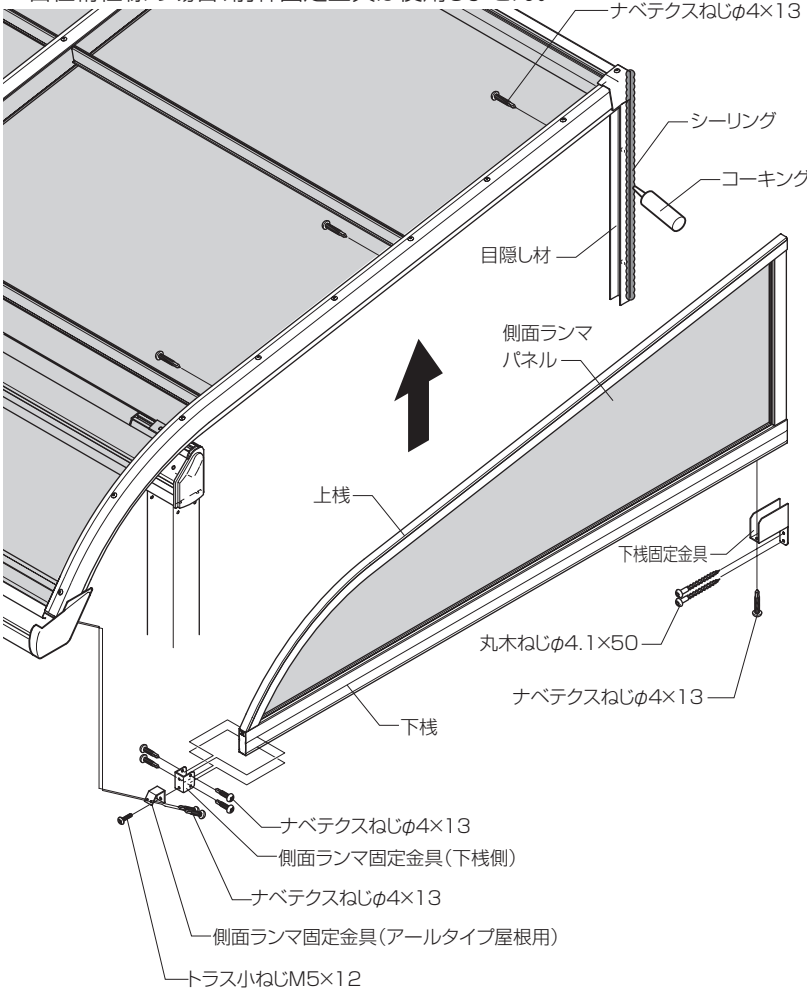
■C部納まり図



Z278_200701B

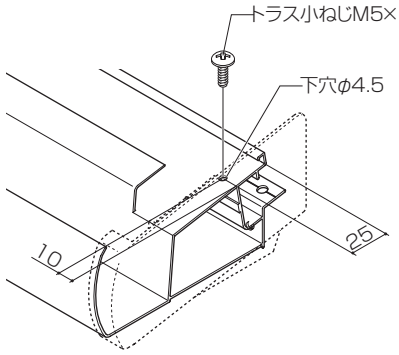
【自在桁専用前枠仕様の場合】

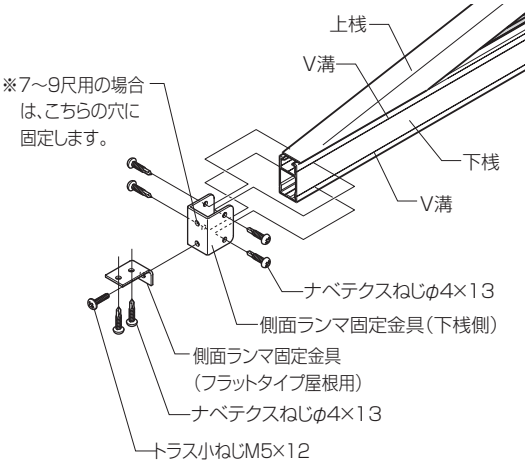
※自在桁仕様の場合、前枠固定金具は使用しません。



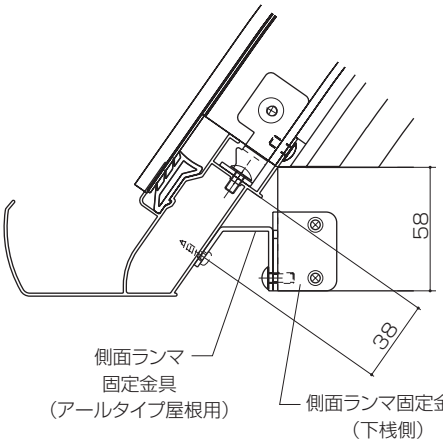
●自在桁専用前枠（フラットタイプ屋根）の場合

※自在桁専用前枠（フラットタイプ屋根）の場合、側面ランマパネルを取付ける前に自在桁前枠端部キャップのビスを取外し、図の位置にねじ止めしてください。

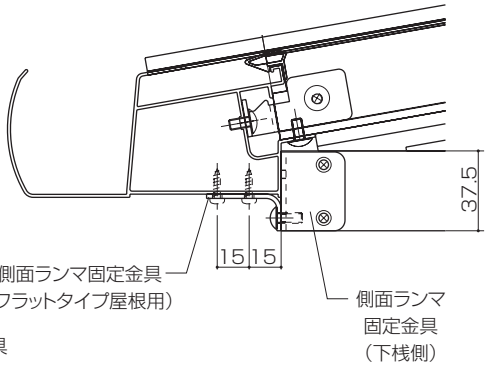




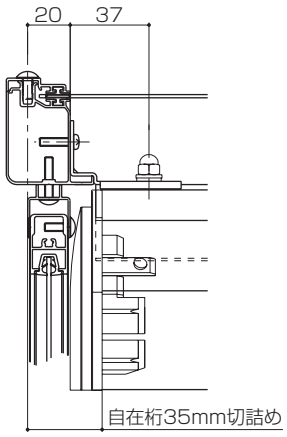
●アールタイプ屋根の場合



●フラットタイプ屋根の場合

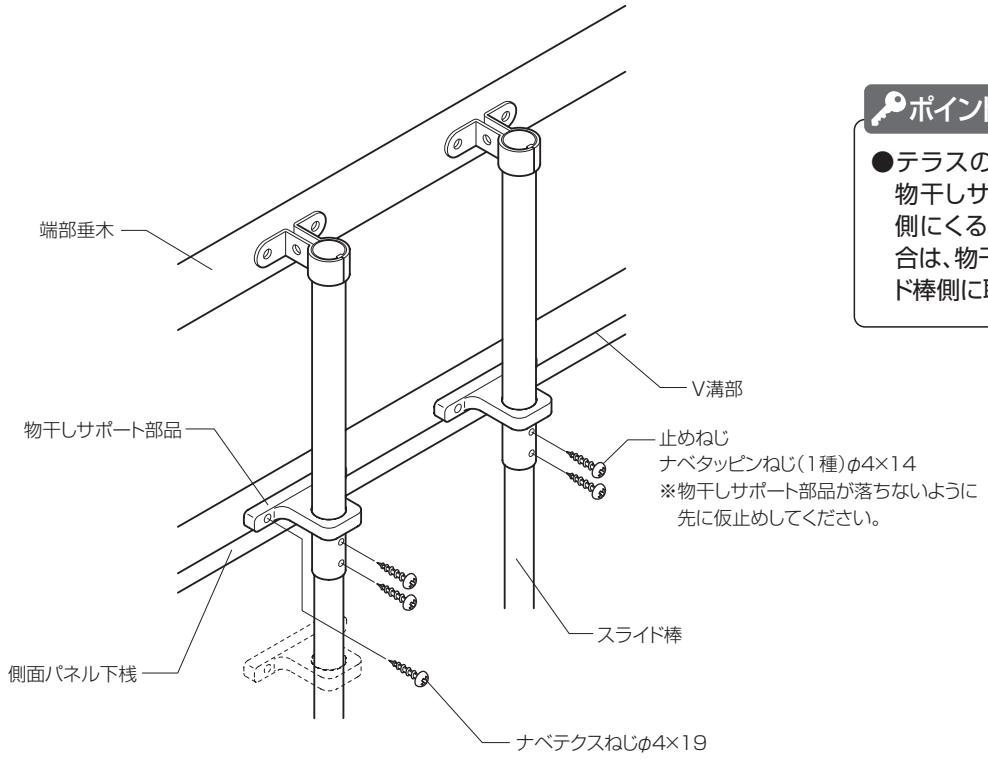


●自在桁部納まり



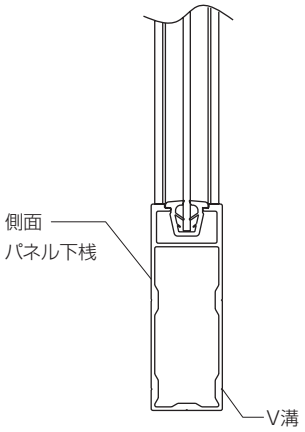
Z278_200701B

4 物干しサポート部品の取付け（オプション）

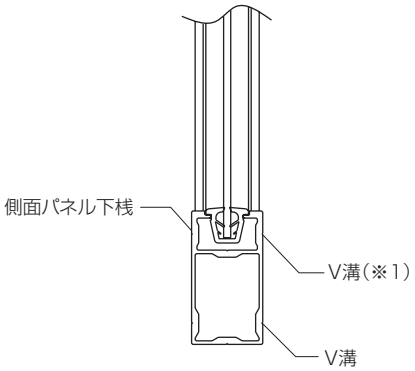


ポイント

●テラスのサイズ･場所によっては、物干しサポート部品がスライド棒側にくる場合があります。その場合は、物干しサポート部品をスライド棒側に取付けてください。



3尺～9尺用 アールタイプ屋根下桟
7尺～9尺用 フラットタイプ屋根下桟



3尺～6尺用フラットタイプ屋根下桟

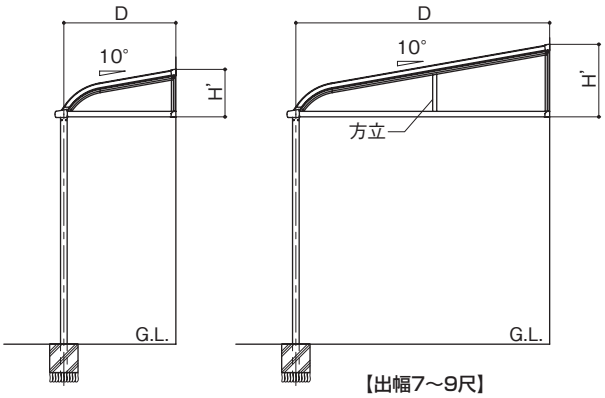
※物干しサポート部品は側面パネルの下桟のV溝部（下側）に固定してください。

ポイント

●側面パネルの下桟の側面にはV溝が2カ所ついています。下側のV溝に取付けてください。上側のV溝に物干しサポート部品を取付けると側面パネルのパネル材と干渉します。（※1）

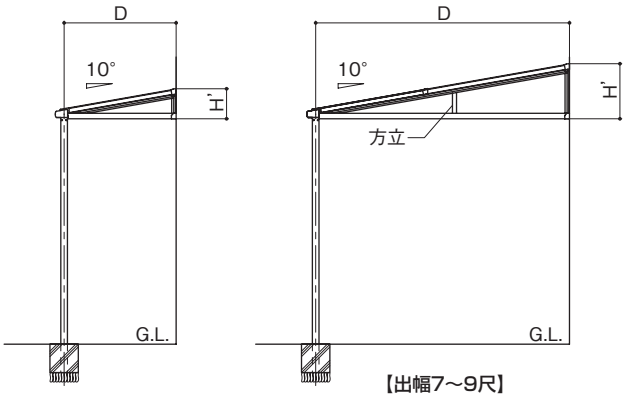
■姿図

●アールタイプ屋根



	D	H'
3尺	885	449
5尺	1185	502
4尺	1485	555
6尺	1785	608
7尺	2085	661
8尺	2385	714
9尺	2685	767

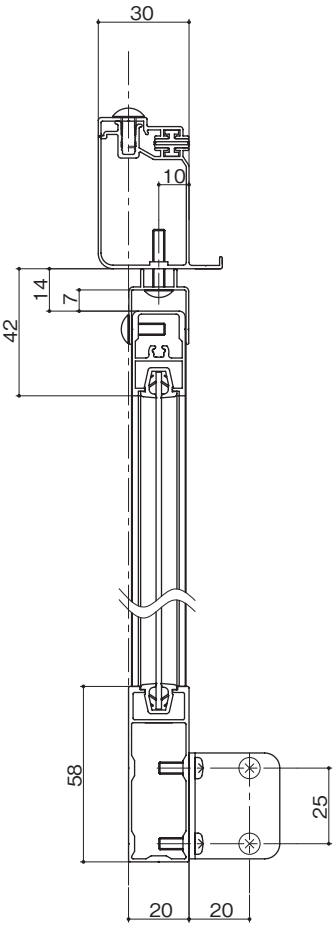
●フラットタイプ屋根



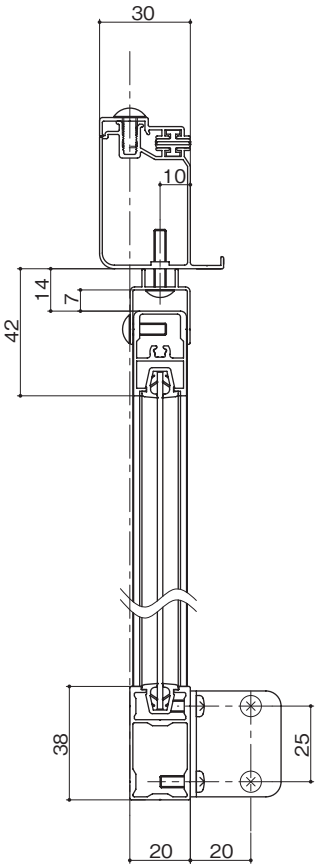
	D	H'
3尺	885	264.5
5尺	1185	317.5
4尺	1485	370.5
6尺	1785	423.5
7尺	2085	476.5
8尺	2385	529.5
9尺	2685	582.5

■参考納まり図

●アールタイプ屋根

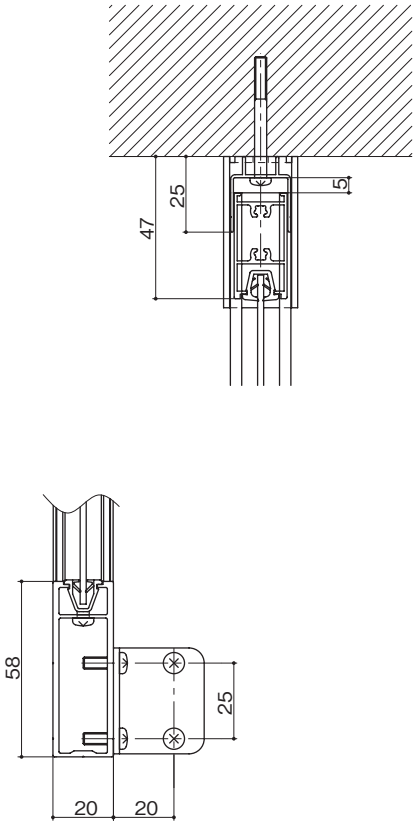


●フラットタイプ屋根



3～6尺

●目隠し材納まり図



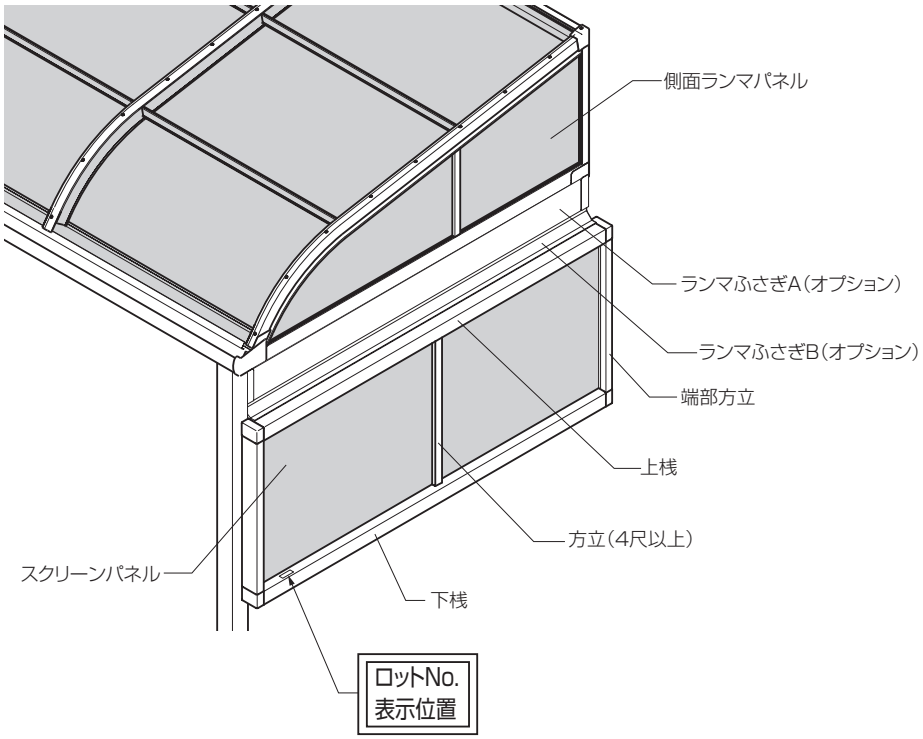
7～9尺

Z278_200701B

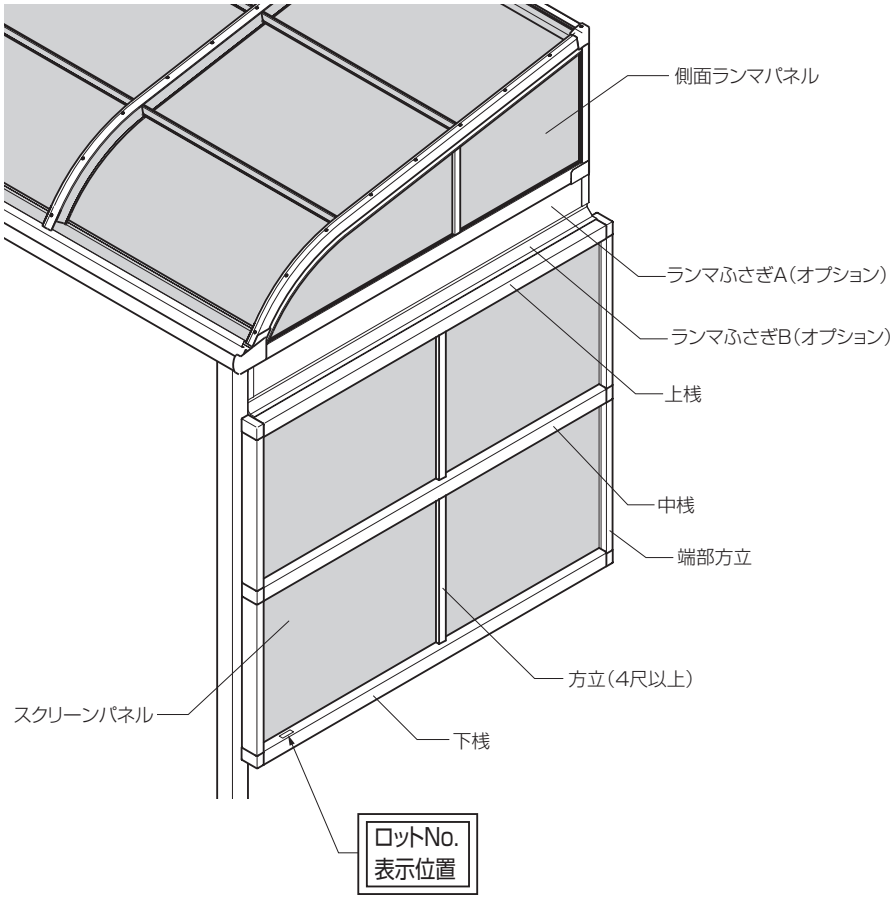
側面スクリーンの取付け

■構造説明図

●1段仕様側面スクリーン



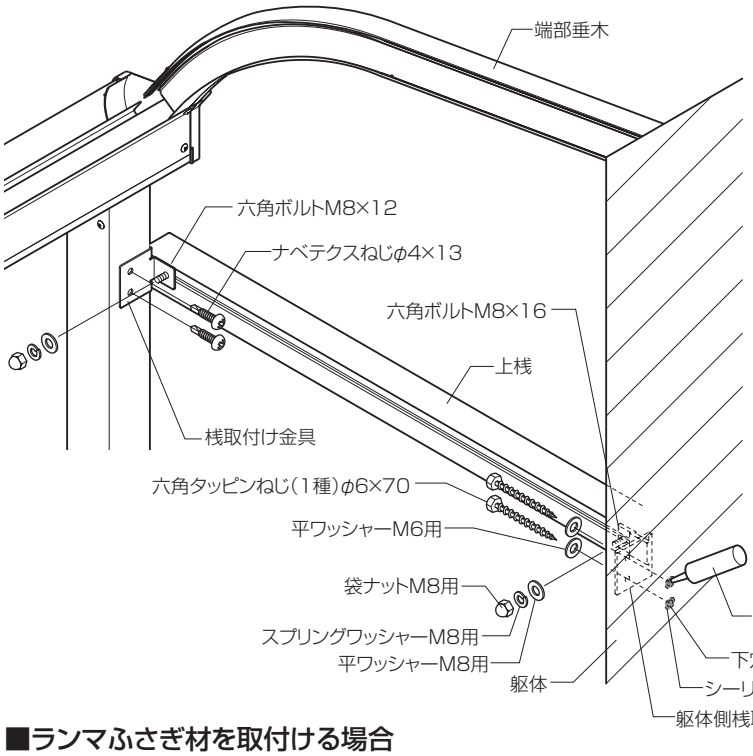
●2段仕様側面スクリーン



Z278_200701B

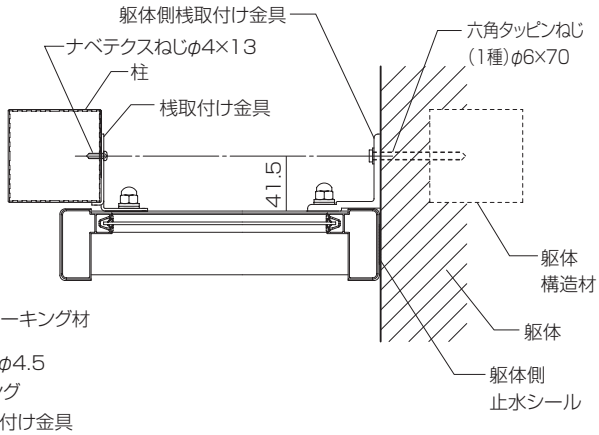
■取付け順序

1 桟取付け金具、躯体側桟取付け金具の取付け



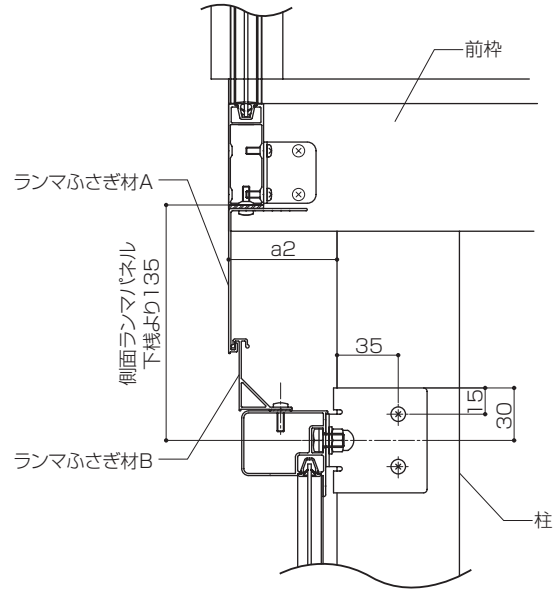
ポイント

- ●ボルトは柱側を六角ボルトM8×12、躯体側M8×16六角ボルトを使用してください。
- ●桟取付け金具を固定後、上桟を取外してください。



■ランマふさぎ材を取付ける場合

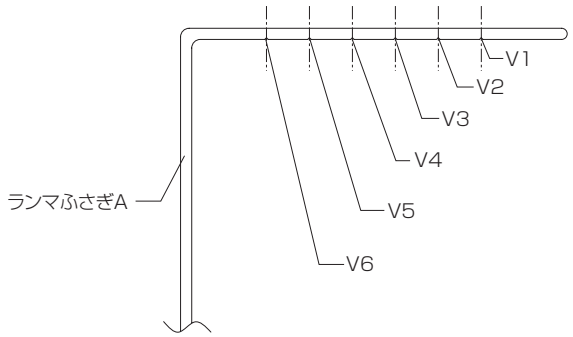
●すき間ふさぎ材取付け例



ポイント

- ●ランマふさぎ材を取付ける場合、桟取付け金具を側面ランマパネルから135mmの位置に取付けてください。

■ランマふさぎ材A取付けV溝位置

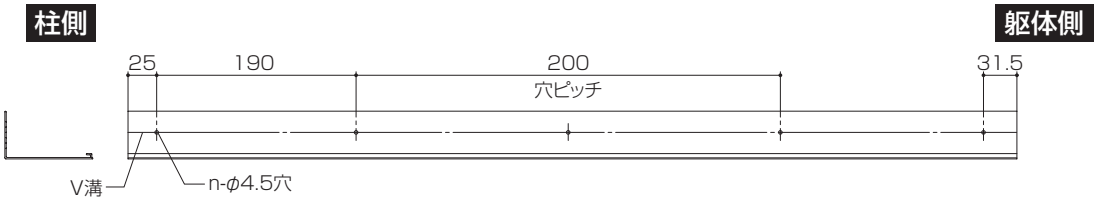


a2	ねじ止めする V溝の位置	ランマふさぎ材 取付け方向例
35≦a2<40	V3	取付け例参照
40≦a2<45	V4	
45≦a2<55	V5	
55≦a2<62	V6	

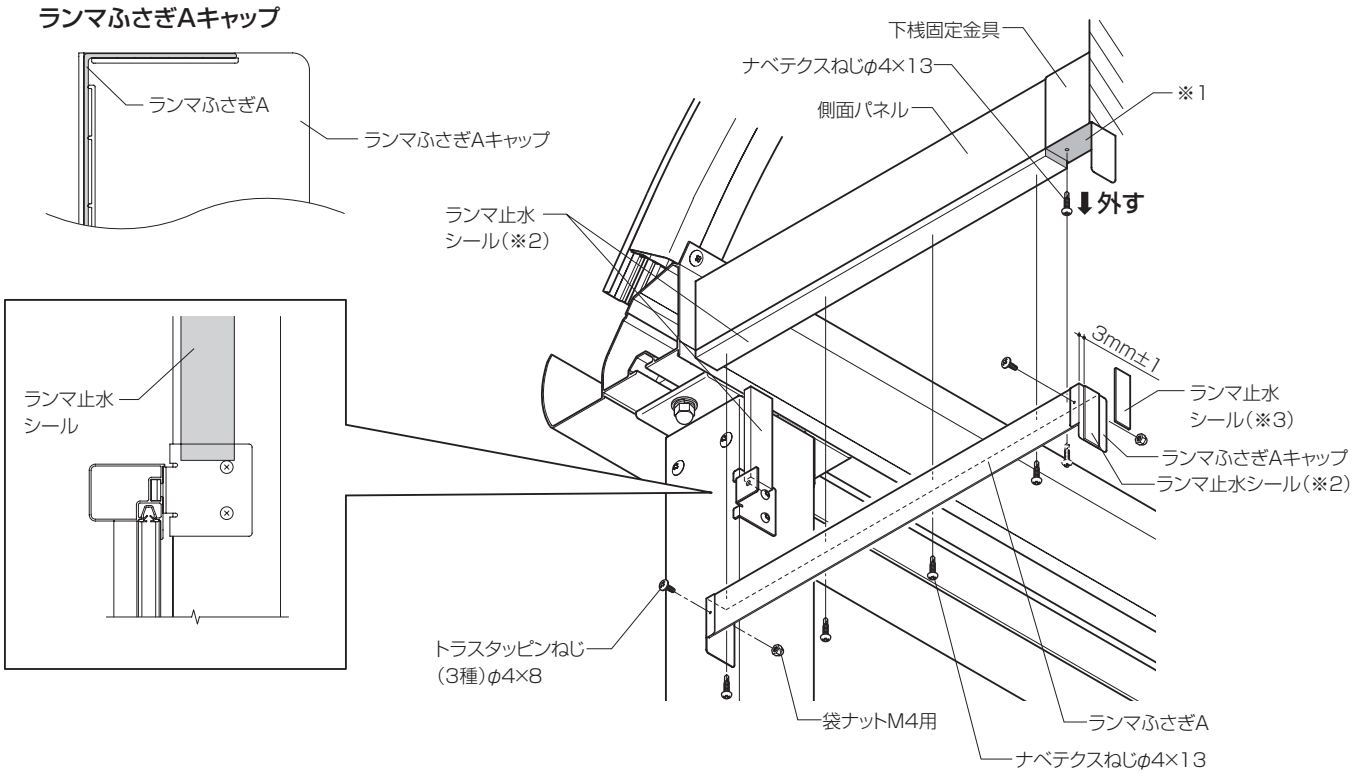
Z278_200710D

2 ランマふさぎ材Aの加工、取付け（オプション）

●ランマふさぎA加工図



	n（個）
3尺	5
4尺	7
5尺	8
6尺	10



※側面ランマパネルに取付いている下桟固定金具からナベテクスねじφ4×13を外してください。

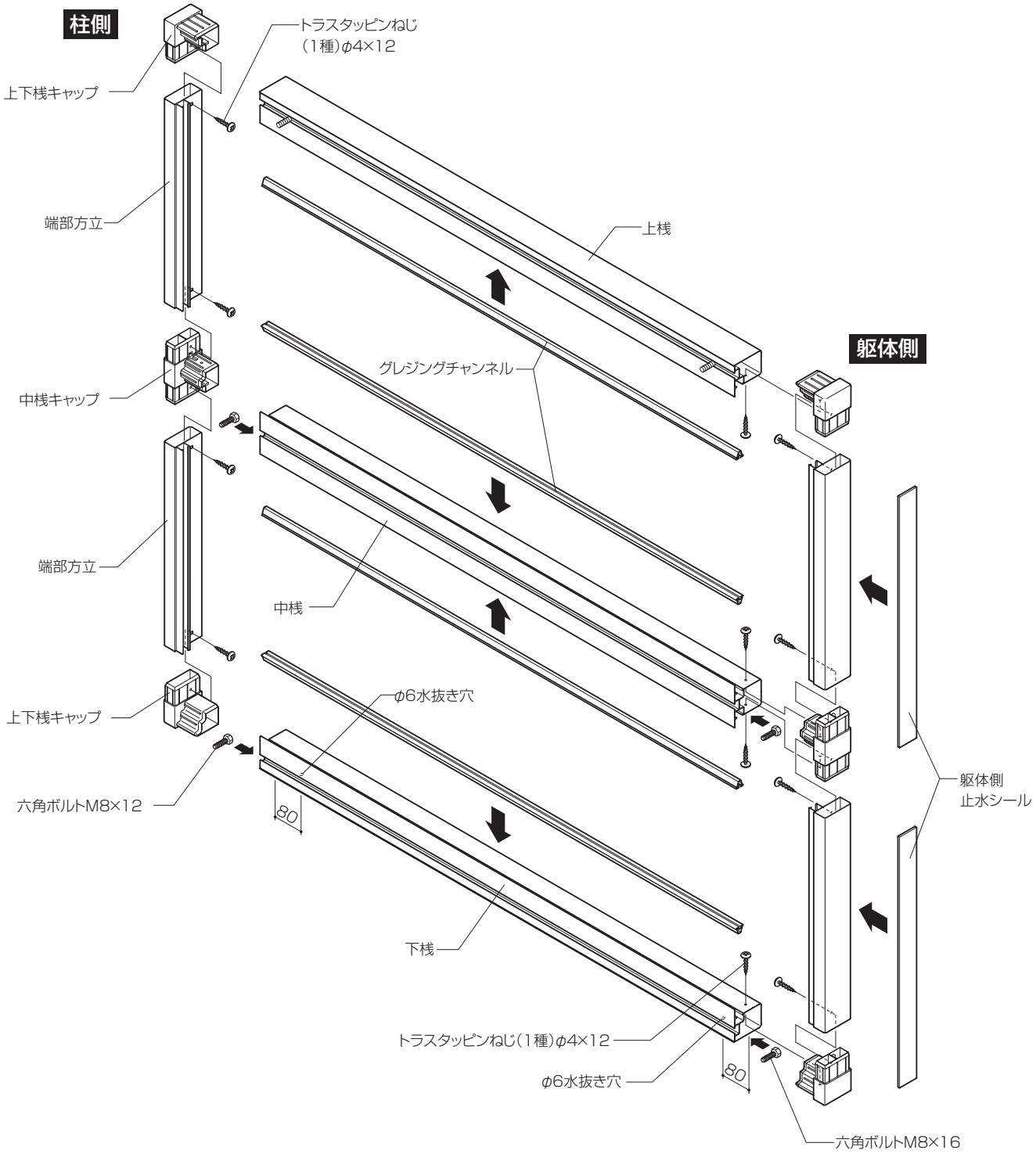
ポイント

- ●ランマふさぎAを取付ける前にシーリングしてください。（※1）
- ●ランマ止水シールは切断して使用してください。（※2）
- ●躯体側のランマ止水シールは2枚重ねて張ってください。
- ●柱に取付けるランマ止水シールは、ねじ部にかからない限度のところまで張ってください。

※ランマふさぎAの躯体側穴位置と下桟固定金具の穴位置を一致させ、外したナベテクスねじφ4×13で共締めしてください。
※ランマふさぎAのねじ取付け位置は、側面パネル下桟の中心になるようにしてください。

3 側面スクリーン枠の組立て

※中桟があるのは、2段仕様の場合です。



ポイント

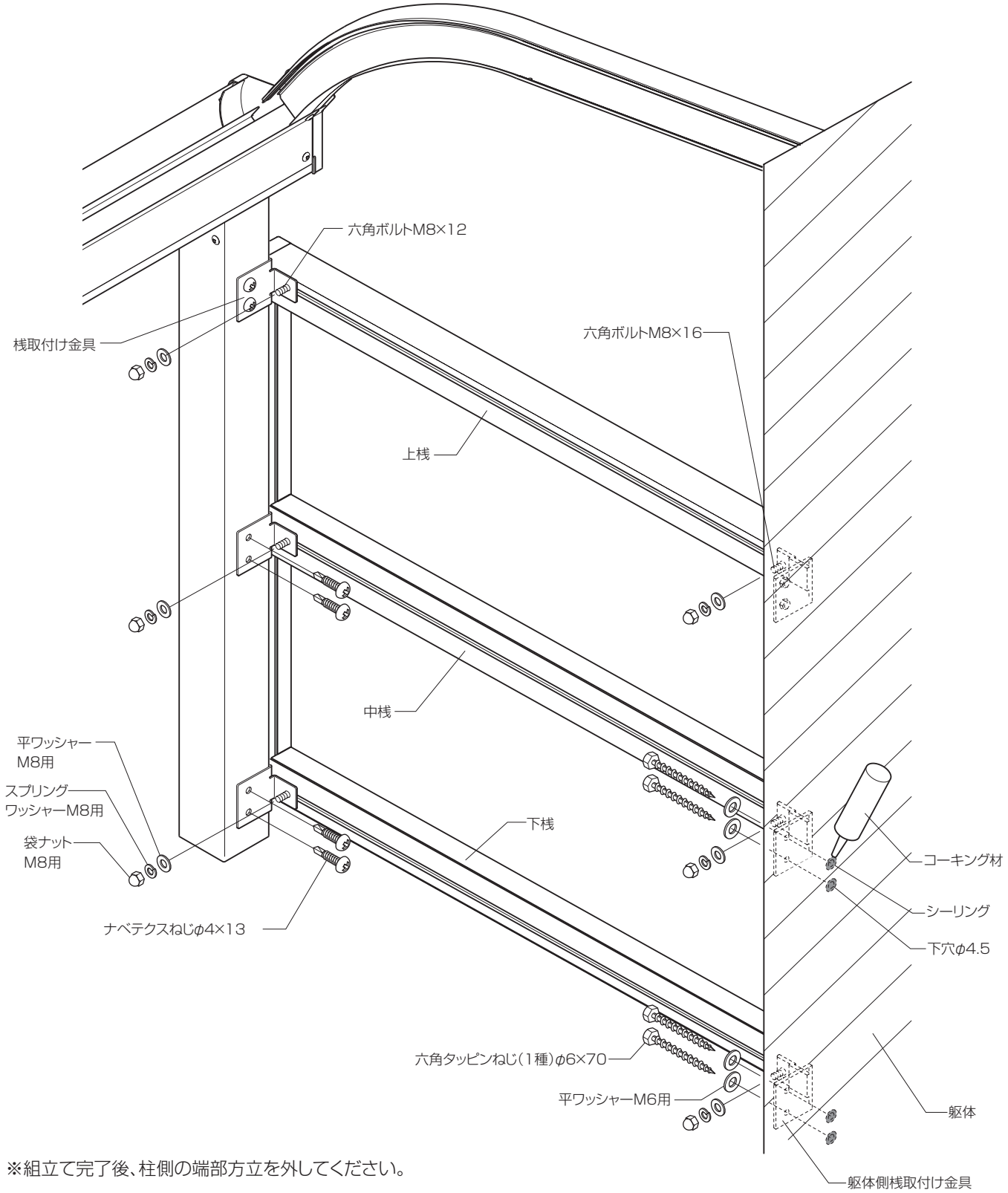
- 柱側の端部方立はパネルを差込む際に外します。キャップは仮止め又は差込むだけにしてください。
- 下桟の下側には、φ6の水抜き穴を2カ所あけてください。
- 上下桟と中桟に入れるボルトは、柱側と躯体側で長さが異なります。確認して入れてください。

補 足

- 止水シールはキャップ端部からキャップ端部まで張ってください。

Z278_200701B

4 側面スクリーン枠の組付け

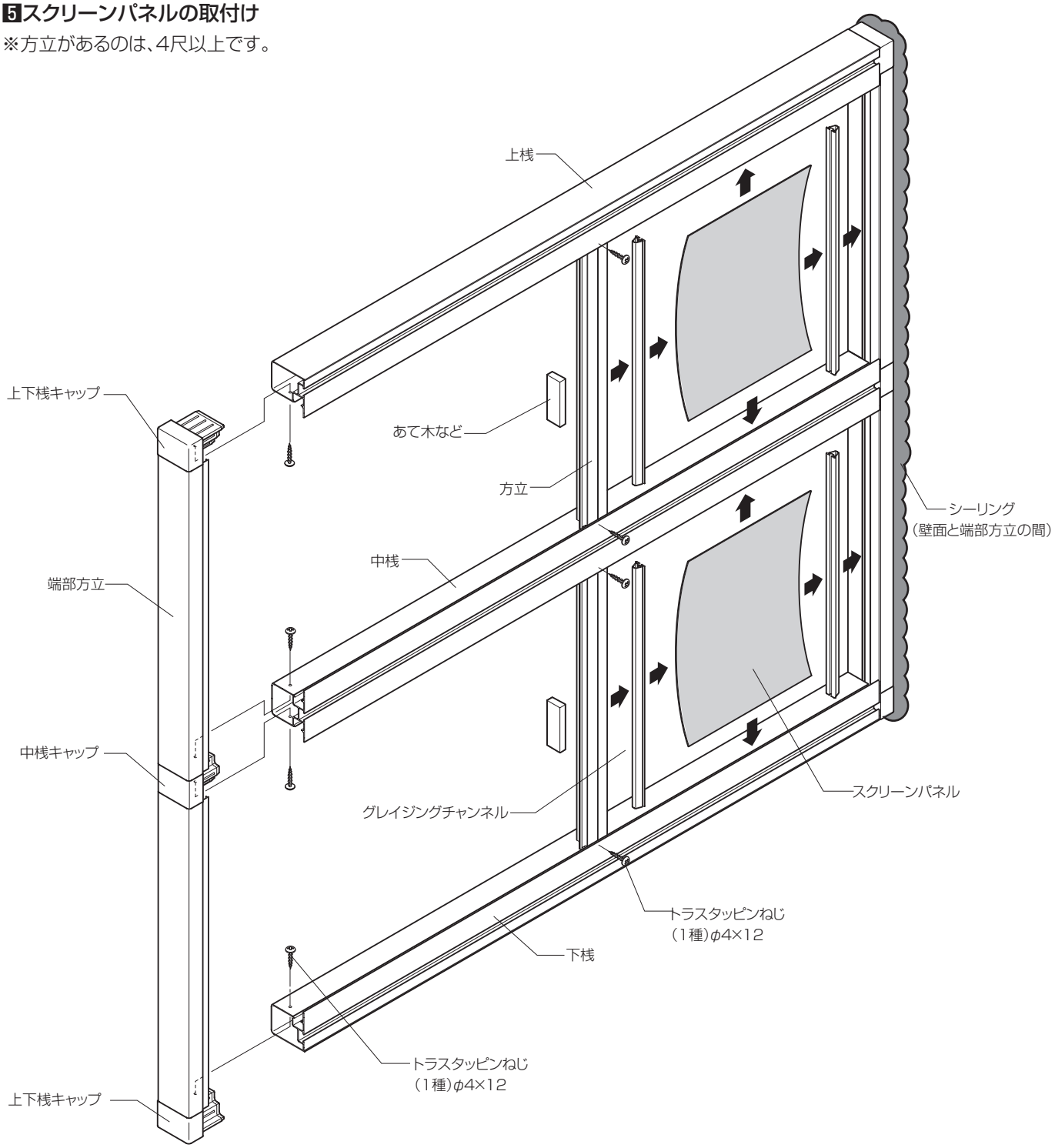


※組立て完了後、柱側の端部方立を外してください。

Z278_200701B

5 スクリーンパネルの取付け

※方立があるのは、4尺以上です。



ポイント

●端部方立と方立は、あて木などを利用してしっかりパネルをたたき込んでください。たたき込みが不足すると端部方立や方立がたわみ、パネルの耐風圧強度が低下するおそれがあり、飛散事故につながることがあります。

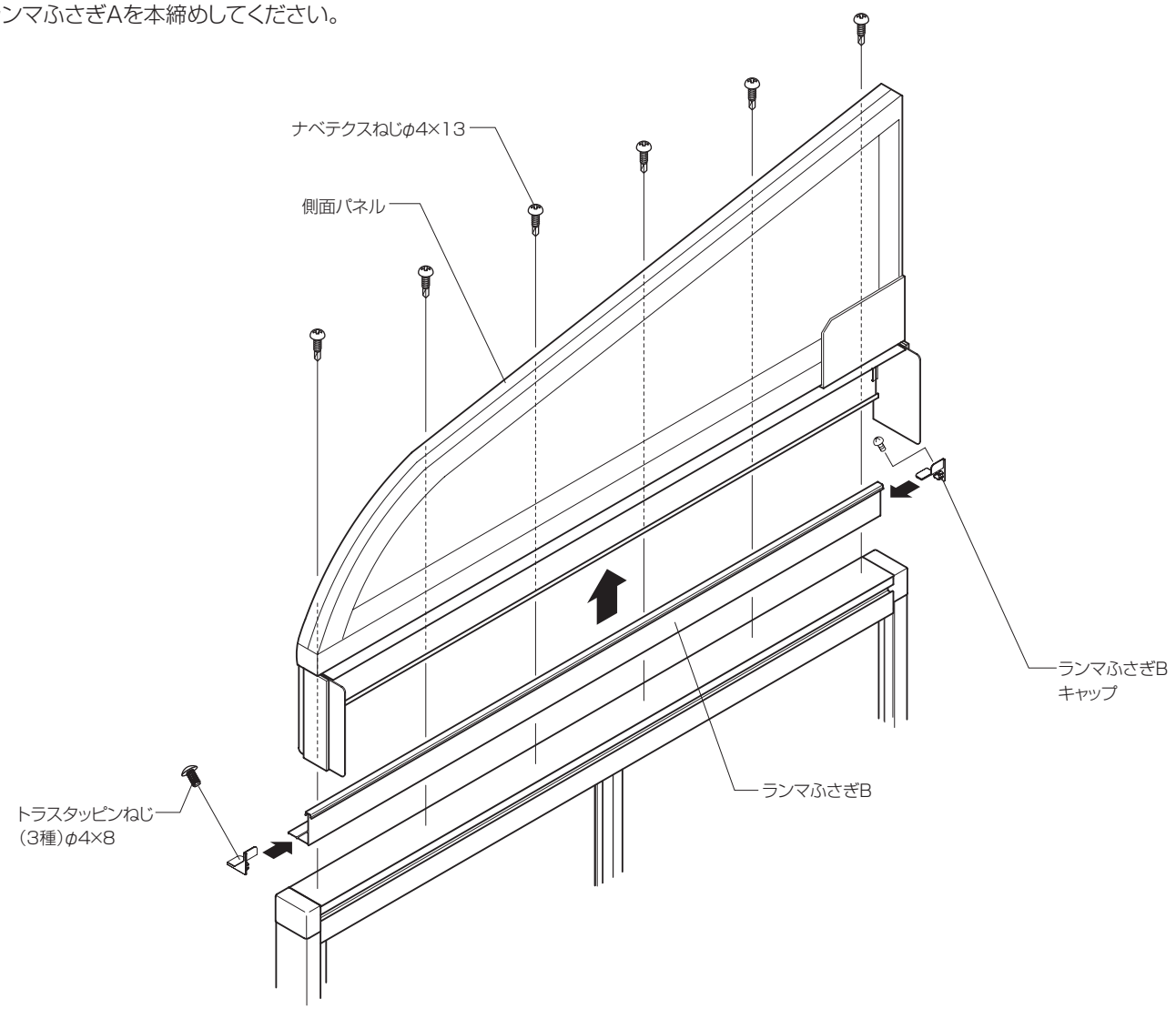
補 足

●パネルの裏表を確認してから取付けてください。

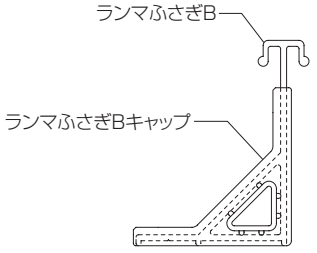
Z278_200701B

6 ランマふさぎBの組付け（オプション）

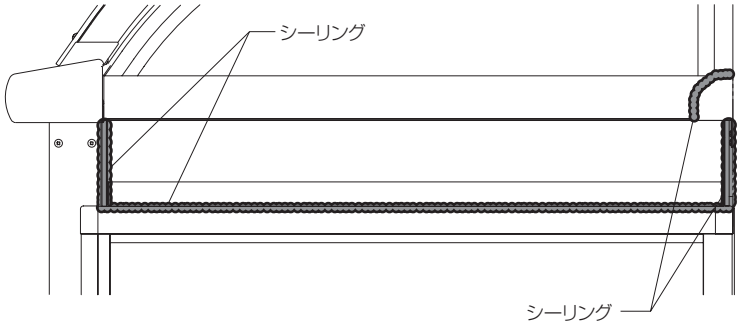
※ランマふさぎBはランマふさぎAに引っ掛けた後（**「1 桟取付け金具、躯体側桟取付け金具の取付け ●ランマふさぎ材を取付ける場合」**、上下桟の上面に乗せてナベテクスねじで取付けてください。
※ランマふさぎAを本締めしてください。



●ランマふさぎBキャップの取付け



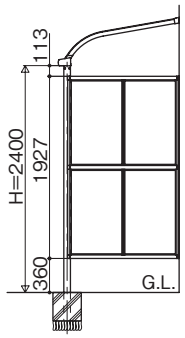
●ランマふさぎ材　シーリング個所



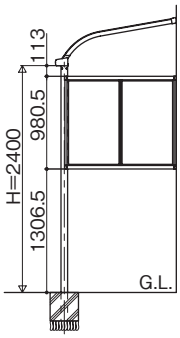
■姿図

●アールタイプ屋根

2段仕様

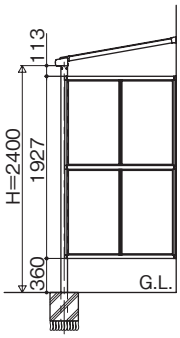


1段仕様

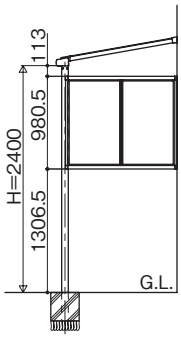


●フラットタイプ屋根

2段仕様

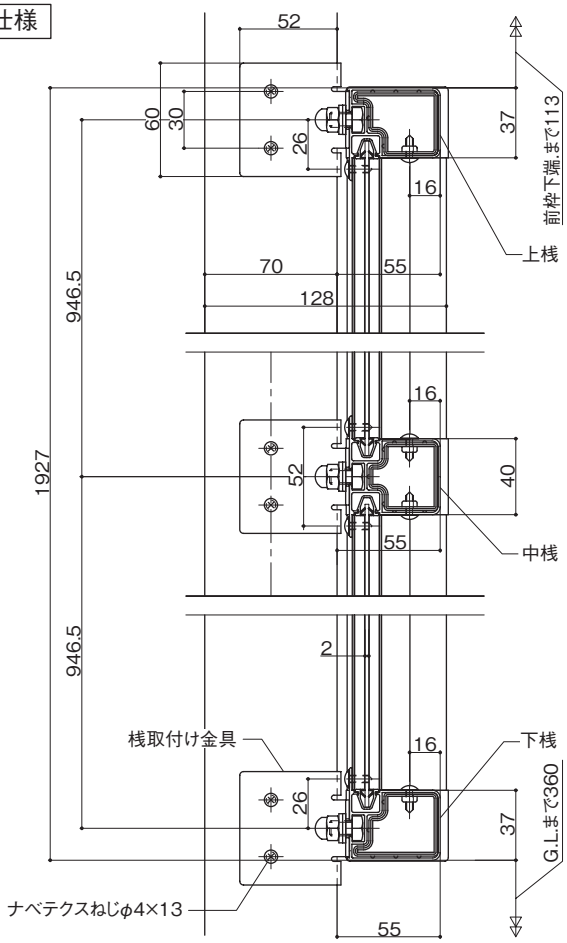


1段仕様

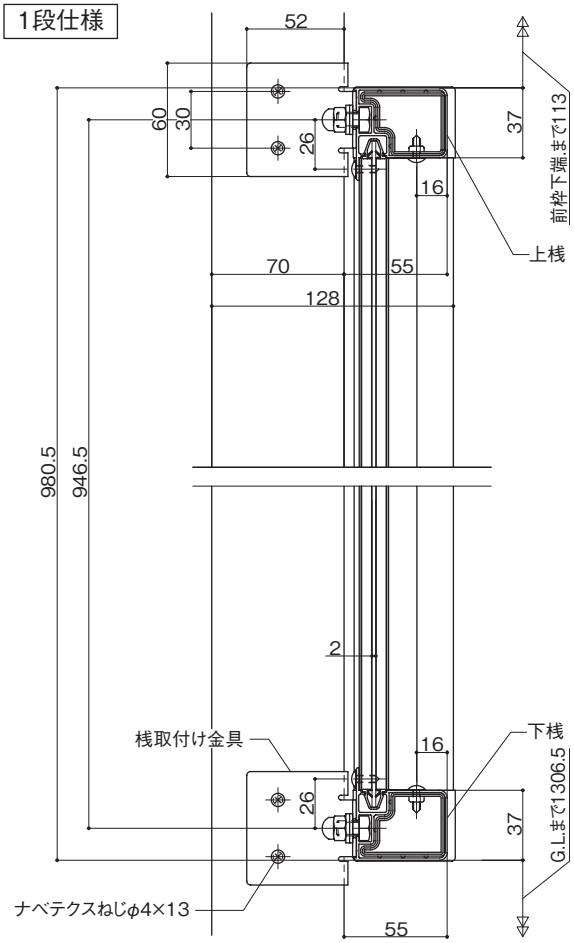


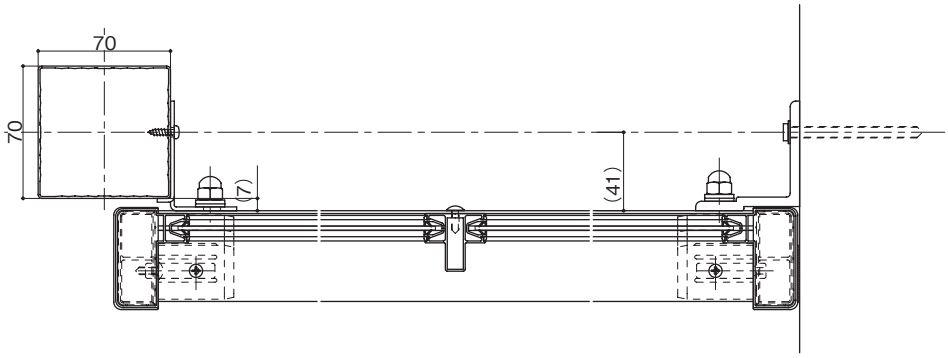
■参考納まり図

2段仕様



1段仕様





Z278_200612A

取説コード

Z278

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

200612A_1039
200710D_1039